

商 況

販賣旬報 第204號 昭和7年8月12日

製鐵所販賣部

8、9月積黑板締切理事会

1、日時場所 8月3日 大阪電氣俱樂部

1、出席者 共販及4社側

組合存続問題の成行豫想を許さざる際なるを以て申込数量は一般に注目せらるゝ處なりしが締切の結果は豫期せる如く其成績は内地輸出向を通じ總計 6,297 吨と前月申込額の約半數となれり。

此申込に對する共販側の割當てに先ち4社側の希望として薄板界の現状は御承知の通りなるを以て買人側も極力手控へ實需筋のみの注文を集收せるにつき今回は指定メーカー通り割當てせられ度若し共販にて割當てを變更せらるゝ場合は買人側として更に考慮を要すことゝなるべし。

以上の希望事項は豫而聲明せるセーラースオプションの原則に牴觸することゝなるも共販に於て割當てを變更するときは勢ひ注文見合の結果を招致することゝなるを以て結局買人側の希望を容れ申込通り全部引受決定せり。

薄物	内地向	輸出向	計
川製中德日	1,340	1,120	2,460
崎鐵山鋼	—	—	—
計	1,000	600	1,600
中德日	200	110	310
計	2,540	1,830	4,370

厚物	内地向	A	B	C	計
川製中德日	660	295	108	—	1,063
崎鐵山鋼	—	5	—	—	5
計	245	267	181	—	693
中德日	25	25	35	—	85
計	930	592	324	—	1,846

輸出向	川	崎	計
川	—	15	15
德	10	50	20
計	10	51.5	20

7、8月積中型山形鋼の申込と引受

定期團創始當時から難色の多かつた中型山形鋼の第2回申込、引受はようやく8月上旬となつて完了した。

賣出理事会の際、既に波瀾を重ねたので申込數量の減少は豫想されてゐたが果して別表の通り買ひ度くない氣持が約1割減となつて現はれた。

現在最も懸念されてゐる問題の中心はアウトサイダーの進出であるが、此處に不思議なのは命を取り相に傳へられてゐるアウトサイダーの根城、大阪が6圓40錢見當を唱へてゐるのに然らざる東京が却つて6圓5錢拂を彷徨してゐると云ふ事である。

こんな珍妙な傾向を見せられるとアウトサイダーの脅威を除去するよりも先づ鳥の羽音に算を亂さない丈けの用意を望み度くなる。

7、8月積中型山形鋼定期申込高

	京濱揚	伊勢灣揚	阪神揚	計
等邊	1,781.5	235	2,414.5	4,431
不等邊	638.5	10	465	1,113.5
計	2,420	245	2,879.5	5,544.5

8、9月積小型山形の締切—申込1,000餘吨

理事長一任となつてゐた8、9月積小型山形の販賣方法は現在の市場に適合する方法に基き賣出を決行した爲めか申込は7月30日までに1,000餘吨となつた。

伸鐵にゲンゲンと追ひ込まれて6、7月積は150吨と云ふ情無い申込にまで墮ち込んだが、思ひ切つた販賣方法に第1の癌である伸鐵が怖を感じて退却し始めたので買手側の懸念も薄らぎ、1,000餘吨の申込を見るに至つたと云はれてゐる。

申込數量	東京	大阪	名古屋	計
	450	610	77	1,137

引受數量 申込の通り引受

9、10月積小型山形鋼共販賣出理事会—理事長一任

月日場所 8月8日 製鐵所東京出張所

出席者 釜石、製鐵及三井物産

議事 9、10月積小型山形鋼賣出に關する件

コストは前月の入電を下廻つたが、爲替が新安値に陥つたので外注値段は復々前月より高値となつたのに反して、内地市場は前月より軟調を報じてゐる。需要不振も勿論影響してゐるが軟調招來の直接原因である伸鐵物は共販の理事長一任に依る強硬なる競争的賣出方法が效を奏してか大阪、東京共に其の姿を潜めたので大體伸鐵驅逐の目的は達したかに見へるが、市中在庫も相當にあるし需要も振はない現状なので尙樂觀を許さないものがあり、一方今回の積出は丁度需要期に向ふので伸鐵物との値幅を適度に保てば復々伸鐵物を驅逐して相當の申込數

量を得る事も期待されるので、前回同様販賣方法を理事
長に一任する事となつた。

尙當共販存續期間延長に關しても協議せられたが異議
なく 10 月 1 日より明年 3 月末日迄で延長と決定した。

外 注 値 段

Tokio, Aug. 8th 1932.

Specification	Hamburg tel. 5th Aug., 1932.	Exch. @ 25 3/4	To-day's market prices
mm			
3/8" x 3/4" (3x20)	G. \$ 16.15	¥ 88.26	¥ 67.00
3/8" x 1" (3x25)	15.75	86.74	58.00
" x 1 1/4" (3x30)	15.00	83.86	57.00
" x 1 1/2" (3x40)	15.20	84.63	58.00
3/16" x 1 1/4" (5x30)	15.00	83.85	60.00
" x 1 1/2" (5x40)	14.25	81.00	56.00
" x 1 3/4" (4x45)	13.75	79.09	58.00
1/4" x 1 1/2" (—)	14.00	80.05	58.00
" x 1 3/4" (6x45)	13.75	79.09	59.00
Import duty		¥ 25.06 per K.T.	
Charge & Int.		1.90 per K.T.	

8、9 月積中型山形鋼共販理事會—條件附据置

月日場所 8 月 9 日 製鐵所東京出張所

出席者 鋼管、東海、製鐵及定期團

議 事

8、9 月積賣出値段を協議する筈の處定期團創設當初より
兎角問題の多かつた 當共販は今日となつて愈々産後の
肥立悪く何とか手術を要すると云ふ 弱氣を誘發してゐた
のに、糧て加へて未だ見ぬアウトサイダーの影に怯へた
ので自然議事は先づ第 1 に賣出方法即ち組織更改をも意
味する事に關して議せられる事となつた。

定期團希望

抑々當定期團創設當時には鋼管、東海、製鐵の 3 者の
みが中型山形を製作すると云ふ想定であつたが、近來ア
ウトサイダーの進出が既定の事實となつたので其の脅威
を受くる事甚しく、到底現状の儘では安忍として定期團
の本城を固守する事出來難きに依りアウトサイダー共々
メーカー間にてよろしく製作分野を協定し、アウトサイ
ダーにも與へるものは是れを與へ、不慮の競争を避けて
妥協せられ、斯くて分野判然と確定したる後定期團にて
引受け、それ迄は据置とし、數量に責任無く必要に應じて
買受け度しとして定期契約の中斷を欲した。

定期團としては決して解消を願ふのではないと云ふが
事實は定期契約の廢棄にも等しいので、共販側の承諾す
る筈なく種々討議の結果共販側より次記解決方法を提出
した處定期團も是れに賛意を表したので深淵に臨んだ今
理事會も無事議了するに到つた。

1、販賣方法

定期團創設當初の契約通り 11 月末まで數量及其の他

の條項に關し何等の變革を來さざる事。

2、賣出値段

先づ前值据置を標準としアウトサイダーの進出する品
種に對しては各地に於て夫々實狀を照合して談合し飽迄
もアウトサイダーに對抗し得る 値段にて賣出す事

因に本日の外注引合値段は次の通りである。

Quotation for Chugata Angle

	9th August, 1932.	
	Equal Angle	Unequal Angle
	£ 3-17-0	£ 3-19-9
Ex. 1/6 3/16	¥ 50.80	52.62
Duty	25.06	25.06
Landing & Charges.	1.90	1.90
	¥ 77.76 per 1,016kgs.	¥ 79.58 per 1,016kgs.
	76.54 per 1,000kgs.	78.33 per 1,000kgs.

7 月中三港輸入概況— 1 萬噸を割る

近來(昭和 4 年以來)三港輸入が 1 萬噸を割つたのは
是れで 3 度目である。即ち輸入狀況に激變を來し、過少
ではあるまいかと云はれた昨年上期の 1 月が 9,159 噸 4
月が 9,910 噸であつたのみである。

昨年は上期に少く下期に多かつたが、今年は其の逆の
經路を辿つて而も昨年よりも少量に止るらしい形勢であ
る。

輸入數量異常の減退は必ずしも業界の健全なる發展を
物語るものではないので無條件には喜ぶ事は出來ない
が、少くとも市場惡化の原因とはならないし、輸入の常
習から遠ざかる事ともなるので効果的には充分嬉しい事
で、鋼材が軒並に需要の衰微を囁たれてゐる 際殊更に有
難い事である。

棒鋼は前月と大差なく而も依然として 實需、特殊物な
ので丸、平に多少減らし度い物もあるが大體に於て健全
なる歩みを續けてゐると云ふべきである。

目につくのは型鋼のノックアウトである。シートパイ
リングと工形は全く影も無く、等山、不等山は殆ど全滅
に等しい。鋼板も愈々著減となり 0.7mm 以下の如き僅に
300 噸足らずとなつたが、現在の爲替と關稅では是れ丈
け入るのも不思議であると見る 向もある程で、相對的
には是れも亦グロッキーである。

中板には依然として共販寸法物が輸入されてゐる、前
月程に烈しくはなく、此の違法狀態も 追々と改善され
ると思ふが、今月も 0.7mm 超 950 噸中、600 噸と云ふ
大量が此罪の子なので餘り自慢の出來ない業跡である。

前月今月と重ねて諄いやうだが何とか考へて戴き度
いものである。鍼力は、依然として 5,000 噸近い 數量が輸

入され、累計に於て昨年より 2 萬噸の増加となり、線材の累計が 2 萬噸減少したのと全く相反して對立し、研究すべき問題を呈出してゐる。軌條も前月に引續き 800 噸と云ふ可成の數量であるが、是れも矢張特殊の品物なので何とも致し方無いが、此の數量が繼續されるのではなく實需手當がなければ當然遙に少量となるのが本來のものと云はれてゐる。

線材は近來(昭和 4 年以來)始めて 1,000 噸以下と云ふ數字を現はした。而も 800 噸の中の大部分はスペシャルロッドなので當分は是れ以上の減少は望むのが慾張りて 1 箇月約 2 萬噸が輸入されてゐた頃に比すれば外注驅逐成れりと見て差支へないのではあるまいか。

鋼管は依然として増減激しく、復々前月の 3 分の 1 となつた、折角メーカーも犠牲は覺悟で努力してゐるとの事であるから遠からず此處にも斯業の確立を見られるであらう。

斯くて輸入は益々減少したが果して是れが自力更生に據る現象であらうか 需要が復活し、人の口からは經濟危機と云ふ言葉が消えて各工場の煙突から勢よく黒煙が吐き出される時に至つて尙ほ今日の數量に止つてこそ初めて外注驅逐の彼岸に到達したと云はれるのではあるまいか。

日暮れて道遠くまだまだ油斷は大敵である。

ブラッセル齋藤囑託通信 8 月 5 日入電

市場閑散にして相場殆保合。

棒 鋼	大型山形	中小型山形	工形(B.S.)
2-2-0	2-2-0	2-3-0	2-2-0
鋼 板	シートパー	ピレット	
($\frac{3}{16}$ ")	(assorted)	(4")	
2-11-0	1-13-0	1-17-6	

東 西 市 況—閑散

何と云ふても暑さは今が峠で、2、8 月の名に洩れず荷動きも頗る閑散である。然し 8 日には已に秋が立つた、待たれる 9 月も眼前に迫つて來たのだから此秋の需要期には如何程の刺戟があるか一般から多大の期待を繋がれて居るが、現在としては爲替安も利かず、米國あたりの好轉を睨んで蟄伏の體と見られて居る。

東 京 市 況

丸 鋼 6mm は西路より安値物の注入不相變旺んに氣配も軟弱を脱れず、9mm も亦需給のバランスを失して居るとの事で落調已まず、ペースに至つてはメーカーの向背明瞭ならず、然もメーカー在庫 2 萬噸の聲に脅へて一路軟調を辿り 5 圓毫危しとさへ云はれて、殆んど匙を投げた形と云はれて居る中丸も前旬同様不冴。

角、平鋼 兩者共環境變化なく不振を續け、ナリ貪状態を改めず、然し平は一時 5 圓 40 錢位まで行つたものが此處まで引き返したのでどうやら下支へとなつたとも云はれて居る。

型 鋼 中型等山は順調に間に合ふし手持も漸増の爲めナリ安と云はれ、當所分野は今の處脅す何等も見出さない所以他鋼材に反抗してナリ高となり賣れぬ乍らもどうやら先物値段迄辿り付いた様である。然し之は全く他力本願の境地であるから、需要が勃興せない限り本調子とは云はれまいとの事である。無理でも此處まで昂る力のあるのは獨占分野の有難味であらう。溝の $\frac{5}{8}$ " \times 5" \times 6" は不相變品稀薄で 8 圓 30 錢搦みを傳へとれ、工形も強保合を續けて居る。

鋼 板 中板の形勢は好調を持續し 16 は思惑で若干動く模様も見えて一部では氣を持つて居るが、全般から見ると 3 \times 6 が餘地を残して居る外力なしと見られて居る。2:3 は大阪の堅調を映して駭り、3:2 も西路の買進みにより割高となり好氣配を傳へられ、4:5 は 5 \times 10 が稀薄其他も駭り、6:0 も品薄に好調、9:0 以上もシャーが耳付高の爲め安値に賣應せず、順調の経過と見られて居る特に 8mm は 7 圓 20 錢と強調を持續。

大 阪 市 況

丸 鋼 例年のことだが酷暑の襲來で我丸鋼市場は減切り商談減じ目下は型物の賣買に氣を取られて「鐵鋼界のバロメーター」と云ふ言葉も最早忘れられた程變態的商狀を呈するに至つた。要之我鐵鋼界は大きく悪く、小さく良いといった市況で従つて一般の豫想では目先特殊の材料が見當らぬので引續きこの閑散不動はしつこく付きまとふであらうとされてゐる。

細丸は荷動き弗々ある關係から市中相場は大した變動はないやうである。8mm は 5 圓 4、50 錢見當を呼ばれ 9mm は各間屋筋では専ら伸鐵品を商内し共販のものは殆ど 4 社がストックし相對峙の形にて共販としてはこの點を餘程慎重に考慮せねばなるまいと云はれてゐる。中丸は市中在庫普通にて順次消化されてゐるので比較的好調を持續してゐる。太丸變らず。

晝の蚊の來るや手をかへ品をかへ 一 茶

角、平鋼 角鋼順次注入あり而してこの品は元來入用買得度のもの丈に商賣の妙味はなく先旬來 1 圓方反落した。細ものは伸鐵品が斷然リードしてゐるので浮ぶ瀬がないと云はれてゐる。平鋼は市中在庫豊富にて安値品も弗々入荷あり賣行捗々しからず相場も 5 圓 5、60 錢を往來してゐる。3" 以上のものは比較的手堅き商狀を呈してゐるが又復下押氣味に轉じた模様である、これは 昨今

伸鐵方面から4寸位迄の太物の手當も相當あるので是が以上の原因をなしてゐるものと見られてゐる。

型鋼 小形アングルは相變らず賣行悪く従つて相場は軟勢を辿るのみと云はれ過般の共販の値下げ發表は市場では餘り好感を持たれてゐないやうである。中形アングルは引續き眞面目に取引されてゐるため相場はカツチリしてゐる、而し諸種の難問題から先行懸念する向もある。大型鋼は相變らず手堅く保合ひ特に品薄のものは7圓以上を唱へられてゐる、工形鋼、溝形鋼共に市中極端なる品掠れにて且つ當所の適當なる販賣振りを眺めて正にはね上つた形で中には8圓拂みを唱へられてゐる品もある様子である。

鋼板 1 中板は市中ストック漸減の態にて相當まとまつた商内も散見せられ市中相場は常に共販の發表値を上廻りまことに頼もしい。2 中板は引續き堅調を辿り相場も9圓拂みを唱へられてゐる。厚板はシャア方面も昨今は問題にならず市場荷廻不順調にて強含持合。

線材 天津、大連方面より製品の大口引合があるので輸出は異常な活況を呈し之に反して内地需要はさつぱりないので各關係者は目下對策を講じつゝあるやうであるが相場は伸びそうで伸びない。

鐵力板 爲替の悪化につれて外注は益々困難となり従つて昨今では市中W・Wの在庫も殆んどなく且つ内地品の拂底と相俟つて相場は駈りを示し目先も急落するやうなことは先づあるまい。

販賣旬報 第205號 昭和7年8月20日 製鐵所販賣部

昭和7年上半期鋼材の供給

1) 共同販賣と云ふものは中途半端な時だけ結束が堅いものである。好況の時には問題にしないし、甚だしい不況になれば減産、減産で脱け賣り位では我慢が出来なくなつて崩壊して行く。

現在の各種共販で薄板共販も9月以降の繼續が問題になつて居るし、鋼材聯合會も千何百噸とかが生命線かどうかのとうと論議されて50圓臺危ふしときへ云はれて居る程不況が深刻なのである。それならそんなに苦しい程此上半期は減産したのだらうか。

2) 驚く事には6年の上半期に比して殆んど全部の品種が内地生産と云はず輸入と云はず供給増となつて居ることである。即ち6年には上、下兩期共100萬噸以下であつたのが今年上半期は100萬噸を突破してしまつた。

去年と較べて特別に需要が多い様にも聞かぬに拘らず半期20萬噸以上の増加では此狹隘な日本市場で値段の安くなるのも亦宜なる哉と思はれる。

其原因の主要なものは恐らく所謂大養景氣と云はれる去年の12月末からの假需要が此供給増を刺戟したものと考へられる。概觀して昭和5年と6年の中間の數量が供給されたものと思へばよからう。

3) 6年の上半期と比較して品種別の考察して見ると。

1、條鋼は10萬噸以上の増加である。是以上の減算には堪えられないなどと云はれて居る丸鋼は5萬噸以上の増加となつた、どうも不思議である。

角、平も伸鐵の脅威益々猛烈を傳へられながら共に増加した、これも不思議である。型物類は棒鋼の増加程目立たないのが、厭々ながらも先物値段迄附いて來る一ツの原因とも考へられる。

2、鋼板は3萬噸の増加である。0.7耗以上は例外的に減少した。それでも市況は一向轉換しないと云ふのは他に重大な原因が潜在して居るのではあるまいか。

0.7耗以下は2萬噸の増加である、之れから考へると賣行不振ではなく供給が多かつたとも云へる、6月以降の3割減産が如何なる効果を現はすが活目に値する。

鐵力は3萬噸に近い増加を示した。輸入した人に云はせれば實需向だから市場に影響はないとの事であるが將して然るや。

3、軌條類は4萬噸の増加である。其の主要なものは勿論重軌條である、此は恐らく特別な需要があつた爲めと思ふ。

4、外輪車軸の1,000噸の増加と云ふものは用途が用途だけにかなりの需要があつたと考へられる。

5、線材は前年と變らないが神戸も八幡も増産となる、其上淺野も増加するらしい、中山も初まるだらう、吾嬬も計畫して居ると昨日迄は輸入の三大宗の一に位してそれ増せやれ増せと内地増産に力を注いだものが早くも供給過剩を豫想されて今や薄氷を踏む様な有様となつた事は丸で夢の様である。

6、鋼管に就てはよくは分らぬが兎に角2萬噸に近い増加を示し専ら相當高値にある模様で、これは恐らく統制の力に依つたものである。

4) 供給者別では。

1、製鐵所は昭和5年迄は民間より多い生産をして居たが6年以降は追々と民間に譲つて、此上半期も10萬噸以上も民間より少ない生産となつた。此民間讓歩の事實は品種別に見れば直ちに明瞭となる。

即ち條鋼で増加して居る丸、角、平、溝形、工形は條鋼分野協定によつて獨自の分野を持つものか或は獨占分野に限られて、等邊、不等邊山形鋼と云ふ共同分野物は減少の道程を辿つて居る、猶之を裏書きするものは鋼板である、珪素鋼板、鐵力が増加して居るに拘はらず0.7耗

以上及以下鋼板共に可なり著しい減少を示して居る。

軌條類も殆んど獨專である爲めと特殊需要によつて著しい増加を示した。線材は同じ共販物ではあるが未だ外注を必要として居る爲め例外的に増加したが、前述の通りの事情であるから遅くも來年度に於ては何等かの變化を示すであらう。

總計で見ると6萬5,000 吨足らずの増加であるが軌條で5萬吨に近い増加を見たのであるから其他の物の増加は誠に僅少で鋼板の如きは寧ろ減少となつて居るのである。

然るに民間に就ては0.7 耗以上鋼板と輕軌條を除けば皆増加の傾向を辿り總計では10萬吨以上の増加となつた。成る程伸鐵や若干の製鋼會社の増設と云ふこともあるうし、内部にも色々の關係もあろうが客觀的情勢からのみ云へばさまで苦しいとは考へられぬ。

其内でも丸鋼の如きは5萬吨近い増加を見たのであるから伸鐵物などを考慮に入れると供給過多も一面無理からぬ事である。其他山形鋼や薄板の増加から見て共販は成る程有難いものと思ふ。

輸入に就ては本年初頭から増加して來たが其原因は一般に氣の緩んだ事と泡沫景氣に刺戟されて己が首をくゞるとも知らず手を出したのが、こう云ふ結果となつたのである。有りそうで無いのは金とお化と云はれるが無さそうである。

5、6月に於ける輸入税の改正と引き續く爲替の落調と國內の深刻なる不況の三重奏により此下半期の供給に就ては深甚なる考慮を必要とするものであるが輸入は恐らく著減するであらうが、内地生産に就ては中々調節を謀ることが困難で誰れしも1吨でも増加させたい氣持が漲つて居るから需給の調節には深き注意が肝要と思ふ。

10、11月積先物協議會—溝型2圓上げ其他据置

月日場所 8月12日 大阪朝日ビル

出席者 製鐵、4社及東西問屋

議事 (1) 10、11月積先物値段の件

本國値段は大部値下りを見たるも爲替の悪化の爲め河岸着値段は殆んど前月と變らず市場も需要不振の爲思ふ程上伸せずと云ふ表向きの理由と先物の手當薄の爲此處ら邊りて買度い氣持もある故と云ふ本音の綜合から据置きを希望すと云ふ事であつた。溝形に就ては餘りに開くを以て2圓値上げとする外全部据置と決定した。

(2) 其他の件 a. 數量に就ては客觀的に見て適當なる數量に整理する事とした。b. 製鐵所より次の提案があつた。

1、角、平鋼定尺變更の件

角、平鋼の定尺は12呎、15呎及18呎の3種とす。

但平鋼3%に限り20呎を加ふ。

2、目缺處理に關し改正の件

目缺斤量1口3%以内のものは目缺に關する苦情に應ぜず、其他従前の通りとす。

以上の内(1)は提案通り可決。(2)に關しては猶研究の上決定する事とした。

(3) 締切日 8月20日

10、11月積先物協議會

品 種	區 分	入電 沖着	河岸着値段 (爲替 1/16-3/16 \$25 7/8)	希望	決定	備考
角鋼	ベース	£3-17-0	¥77.59	71.00	71.00	据置
平鋼	(本所分野)	3-17-0	77.59	71.00	71.00	"
大型	山形鋼	3-17-0	77.59	71.00	71.00	"
工形	鋼	3-17-0	77.59	71.00	71.00	"
溝形鋼	(吋寸法)	\$ 16.80	90.64	78.00	80.00	2圓上げ
"	(耗寸法)	13.25	77.13	71.00	71.00	据置
丸鋼	ベース	£3-17-0	77.59			
"	9mm	4-4-6	82.57			
中小型	山鋼形	3-17-0	77.59			
鋼板	6mm以上	4-10-0	86.21			
"	4.5mm	4-10-0	86.21			
"	3.2mm	4-18-0	91.52			
"	2.3mm	5-4-0	102.33			
"	1.6mm	5-6-0	103.66			
線材	B.W.G.No.5	\$ 25.50	120.53			
黑薄	鋼板	£10-12-6	187.63			
鋳力	板	170 lbs 1-11-2	22.62			
"		100 lbs 0-17-3	21.55			

9、10月積中板共販賣出理事會—値上げ

日時場所 8月12日 大阪朝日ビル

出席者 東海、製鐵及4社

議事 9、10月積中板賣出に關する件

外注値段は相當高値にあるも市場の情勢も考慮に入れ外注追隨の徹底せる中板の主義に反せざる範圍に於て若干の値上をなした。

外注値段

Sept./Oct. Shipment

10 th Aug., 1932

Kiboh

1.6mm	£ 5-6-0	¥ 102.92	¥ 98.00
2.3mm	5-4-0	101.61	96.00
3.2mm	\$ 16.25	87.75	84.00
4.5mm	£ 4-10-0	85.58	81.00

Exch. rate @ £ 1/6

@ \$ 26 7/8

Duty 1.6mm, 2.3mm ¥ 32.01

3.2mm, 4.5mm 25.06

Charge & Int. 1.90

9、10月積線材共販賣出理事會—2圓上げ

月日場所 8月15日 甲子園ホテル

出席者 神戸、製鐵及4社

主なる議事 (1) 9、10月積賣出に關する件

5社側提案次の如し

過去三箇年上半期

品 種	製 鐵 所	製 鐵 所			民 間			内 地 生 産 高		
		5 年	6 年	7 年	5 年	6 年	7 年	5 年	6 年	7 年
條 鋼	丸角鋼	45,694	27,811	31,901	141,833	107,575	150,197	187,527	135,386	182,098
	平邊鋼	13,398	2,890	11,766	3,518	1,571	2,702	16,916	4,461	14,468
	等邊山形鋼	36,656	7,973	10,841	5,512	9,491	14,728	42,168	17,464	25,569
	不等邊山形鋼	30,849	31,109	27,968	49,100	31,498	40,489	79,949	62,607	68,457
	工溝形鋼	12,806	14,560	11,767	4,260	3,907	4,117	17,066	18,467	15,884
	シートのパイリング	10,572	17,333	19,844	—	—	—	10,572	17,333	19,844
	フープ (スケルトンを含む)	26,414	13,945	16,569	—	—	—	26,414	13,945	16,569
	其他	—	7	5,115	—	—	—	—	7	5,115
	小計	1,089	5,519	439	4,284	4,518	6,059	5,373	10,037	6,498
	計	177,478	121,147	145,525	208,507	158,560	218,292	385,985	279,707	363,817
鋼 板	鋼板 0.7mm 超	101,466	68,503	55,717	87,559	82,273	78,946	189,025	150,776	134,663
	0.7mm以下	15,713	18,953	15,905	100,763	104,340	122,526	116,476	123,293	138,431
	素鋼板	2,647	2,124	3,176	—	—	—	2,647	2,124	3,176
	矽鋼板	1,899	1,620	1,105	—	—	—	1,899	1,620	1,105
	力板	10,186	13,282	16,977	—	—	—	10,186	13,282	16,977
	ユニバーサル平鋼	1,302	4,152	1,768	—	—	—	1,302	4,152	1,768
小計	133,213	108,634	94,648	188,322	186,613	201,472	321,535	295,247	296,120	
軌條及 附屬品	重軌條	138,273	47,564	94,460	—	—	—	138,273	47,564	94,460
	輕軌條	18,797	5,314	7,744	1,012	654	—	19,809	5,968	7,744
	繼小計	9,760	4,675	1,751	—	—	—	9,760	4,675	1,751
	計	166,830	57,553	103,955	1,012	654	—	167,842	58,207	103,955
外 線 鋼 其	輪、車 軸材管他	3,240	2,370	1,900	4,562	2,741	4,440	7,802	5,111	6,340
	其他	40,430	48,079	53,712	18,261	41,076	49,131	58,691	89,155	102,843
	計	2,319	996	2,934	47,705	29,146	47,943	47,705	29,149	47,943
總 計	523,510	338,779	402,674	468,375	419,537	522,610	991,885	758,316	925,284	
(1 箇 年 總 計)	917,769	663,026	?	872,149	896,341	?	1,789,918	1,559,367	?	

備 考 (1) 民間生産高は主として鐵鋼協議會調査による (2) 輸入高は神戸、大阪、横濱三港輸入高を大藏省統計による

5 社 案

(1) 9 月渡ロッド

値 段 内地向 83 圓(2 圓上げ) 輸出向 75 圓(〃)
 數 量 内地向 8,000 噸 輸出向 3,000 噸 計 11,000 噸
 輸出向數量増量願度

(2) 輸出向は本船出帆の都合に依り輸出向ロッドの積出を待ちては間に合はざる事あるを以てロッド積出前と雖も契約數量を限度として輸出許可願度し。以上説明として

外注は實際値段を 20 弗としても爲替が益々悪化したる爲め 100 圓以上の高値となり、一方内地市場は徐々に回復しつつあるも製品の値上り稀薄なる等諸種の國內事情もあるを以て 2 圓上げ程度に留められたく、輸出向に就ては保稅の出來高も漸減し内地品の輸出も 2,000 噸以上出來たとの話あり、旁々外注品の品質の點も考慮する時は据置きとしたき意向もあれど、大勢も考へてやはり 2 圓上げとすると共に數量は 3,000 噸とし内地向を 8,000 噸とせられたし。之れに對する理事會の決定は

(1) 値段は買手希望通り

製 鐵 所 神 戸
 内地向 83 圓 82 圓 50 錢(2 圓上げ)

製 鐵 所 神 戸
 輸出向 75 圓 75 圓 (〃)

(2) 數量 内地向は 8,000 噸として申込の情況を見たる上取捨決定すること 輸出向の増量に就ては最近實施したるのみで其結果も不明で成行に就ては相當注視を要する點もある故前月通り 2,000 噸に留めることとした。希望第 2 の輸出の件は事情不明にて、税關とも打合せの必要もあるを以て過去は過去として將來に就ては當分現行通りとすること。

締切 8 月 19 日

R O D S

C. I. F.	\$ 20.00
Exch. \$ 25-1/4	¥ 79.21
Int. 1.4%	1.10
Charge	90
	¥ 81.21
1,000 kgs. duty	79.93 in bond
	21.67
	¥ 101.60

9、10 月積鐵力板協議會一値上げ

月日場所 8 月 17 日 製鐵所東京出張所

出席者 製鐵、4 社及問屋

鋼材供給高比較表

輸 入			總 計				
5 年	6 年	7 年	5 年	5 年 1 ケ年 計	6 年	6 年 1 ケ年 計	7 年
15,556	3,724	4,934	203,083	357,765	139,110	336,773	187,032
1,768	485	961	18,684	32,249	4,946	29,383	15,429
7,195	1,915	4,393	49,363	71,324	19,379	54,569	29,962
7,343	5	1,045	87,292	156,234	62,612	112,952	69,502
4,739	269	853	21,805	41,787	18,736	28,831	16,737
8,519	1,658	1,023	19,091	37,971	18,991	36,135	20,867
4,385	577	463	30,799	44,477	14,522	23,134	17,032
19,653	7,645	10,873	19,653	33,380	7,652	13,835	15,988
—	—	31,757	—	—	—	10,647	41,072
4,203	423	1,865	9,576	14,570	10,460	15,583	8,363
73,361	16,701	58,167	459,346	789,757	296,408	661,842	421,984
35,090	3,671	5,518	224,115	363,597	154,447	279,883	140,181
21,958	4,667	10,547	138,434	242,929	127,960	272,403	148,978
5,343	1,008	1,462	7,990	12,799	3,132	5,457	4,638
1,698	—	36	3,597	6,645	1,620	3,809	1,141
43,889	19,535	42,223	54,075	91,273	32,817	76,045	59,200
—	—	—	1,302	2,916	4,152	8,489	1,768
107,978	28,881	59,786	429,513	720,159	324,128	646,086	355,906
3,164	1,726	2,244	141,437	260,537	49,290	89,907	96,704
4,465	636	524	24,274	38,450	6,604	21,076	8,268
634	171	126	10,394	18,613	4,846	7,274	1,877
8,263	2,533	2,894	176,105	317,600	60,740	118,257	106,849
545	238	112	8,347	16,473	5,349	12,569	6,452
44,687	31,622	17,889	103,378	191,116	120,777	240,959	120,732
19,212	5,964	5,825	66,917	116,526	35,113	74,005	53,768
1,551	809	1,648	3,876	11,244	2,549	8,166	5,914
255,597	86,748	146,321	1,247,482	2,162,875	845,064	1,761,884	1,071,605
372,957	202,517	?	2,162,875	—	1,761,884	—	?

數量を品種別に按分したるもの

議 事 9、10月積鉄力板賣出に關する件

買手側希望 例によつて例の如く爲替の落調熄まず釣瓶落しに4片臺に低落した上に沖着値段も前回より多少とも上廻つて、外注値段は別表の如く脇目も振らずに昂騰し、搦て、前月來製鐵所の聲明せる市場リードの政策效を奏して、市場ストックも減少し、値段も上向いたので製鐵所本來の主旨に従へば大幅値上げを要する状態であるが事實は需要依然として振はず而も安値外國品の横行もあるので大阪の如き 100 封度 10 圓 20 錢 170 封度 19 圓程度を希望致度き環境なりしも先行強調が既定の事實たる此の際、1歩を進めて適當に買上げる餘地もあるので買手側の常識に於ては、市況に即さず外注に離れざる値段として 100 封度 10 圓 50 錢 170 封度 19 圓 50 錢に決定願度き意向なり。との希望が述べられたが、之れを要するに今回は安値に賣出して後に吊り上げ一度は確實にして而も嬉しい商賣をさせては如何との意であると云ふ註釋があつた。

是れに對する製鐵所の回答と決定事項は次の通りである。現在ストック皆無なるに拘らず殊更に安値に賣應する要無く而も製鐵所の鉄力板に對する方針は飽迄も極度

の外注追隨主義で外注の危険無き程度まで引上げて市場を好轉せしむる使命あるも 2ヶ月間賣止めたる後ではあり、爲替のフラクチュエーションも激しき際なれば 100 封度 11 圓 170 封度 20 圓 50 錢と致し度しとして充分買手の希望をも併せ考慮する事となつたので買手側も之れに和し此處に久し振りに鉄力の賣出を見る事となつた。

値 段 100 封度 11 圓 170 封度 20 圓 50 錢
 數 量 600 噸乃至 800 噸 買手側オプション
 締切日 8 月 20 日

外 注 値 段

	100 lbs.	170 lbs.
Cif.	£ 0-17-0	± 1-11-10
Exch. @ ¼ ¾	¥ 12'18	¥ 22'81
Interest 1.3%	.16	.30
Duty	.72	1.22
L. charge	.03	.15
	¥ 13'14	¥ 24'48
希 望	10'50	19'50

7 月 中 大 陸 市 況

待てば海路の日和とやらで大陸市況にも今日となつて漸く明るい言葉が散見されるやうになつた。

尤も夏枯閑散期を目前に控へてゐるので需要が急増し

昭和5年上半期を基準とせる6、7年上半期の100分率対照表

品	區分	製鐵所		民間		内地生産		輸入		合計	
		6年	7年	6年	7年	6年	7年	6年	7年	6年	7年
條鋼	丸角鋼	60.9	69.8	75.8	105.9	72.2	97.1	23.9	31.7	68.5	92.1
	平邊鋼	21.6	87.8	44.7	76.8	26.4	85.5	27.4	54.4	26.5	82.6
	山形鋼	21.8	29.6	172.2	267.2	41.4	60.6	26.6	61.1	39.3	60.7
	山形鋼	100.8	90.7	64.2	82.5	78.3	85.6	0	14.2	71.7	79.6
	山形鋼	113.7	91.9	91.7	96.6	108.2	93.1	5.7	18.0	85.9	76.8
	溝形鋼	164.0	187.7	—	—	164.0	187.7	19.5	12.0	99.5	109.3
	パイピング	52.8	62.7	—	—	52.8	62.7	13.2	10.6	47.2	55.3
	その他	—	—	—	—	—	—	38.9	55.3	38.9	81.4
	其小計	506.8	40.3	105.5	141.4	186.8	120.9	10.1	44.4	109.2	87.3
	鋼板	68.3	82.0	76.0	104.7	72.5	94.3	22.8	79.3	64.5	91.9
鋼板	0.7mm超	67.5	54.9	94.0	90.2	79.8	71.2	10.5	15.7	68.9	62.5
	0.7mm以下	120.6	101.2	103.5	121.6	105.9	118.8	21.3	48.0	92.4	107.6
	矽素鋼	80.2	120.0	—	—	80.2	120.0	18.9	27.4	39.2	58.0
	鋼板	85.3	58.2	—	—	85.3	58.2	0	2.1	45.0	31.7
	鋼板	130.4	166.7	—	—	130.4	166.7	44.5	96.2	60.7	109.5
	ユニバーサル平鋼	318.9	135.8	—	—	318.8	135.8	—	—	318.9	135.8
其小計	81.5	71.1	99.1	107.0	91.8	92.1	26.7	55.4	75.5	82.9	
軌條及 附屬品	重軌條	34.4	63.3	—	—	34.4	68.3	54.6	70.9	34.8	68.4
	輕軌條	28.3	4.2	64.6	0	30.1	39.1	14.2	11.7	27.2	34.1
	繼目	47.9	17.9	—	—	47.9	17.9	27.0	19.9	46.6	18.1
	其小計	34.5	62.3	64.6	0	34.7	61.9	30.7	35.0	34.5	90.7
外線鋼 其總	輪、車	73.1	58.6	60.1	97.3	65.5	81.3	43.7	20.6	64.1	77.3
	軸材管他	118.9	132.9	224.9	269.0	151.9	175.2	70.8	40.0	116.8	116.8
	總計	42.9	126.5	61.1	100.5	61.1	100.5	31.0	30.3	52.5	80.4
總計	64.7	76.9	89.6	111.6	76.5	93.3	33.9	57.2	67.7	85.9	

相場が跳ね上がる道理はなく、目先依然として盆槍ではあるが其の底に流れる1脈の精氣は見逃す事が出来ない。

白耳義の罷業(ブラッセル通信参照)等に依る一時的の異状硬化は別として各國の高率關稅壁と通貨膨脹傾向に依つて貿易が困難となり決して改善されたと云ふのではないが英國の課稅期日が尙ほ3箇月間延期されたので同國からの引合が期待されてゐるし、獨逸市場には露西亞からの纏つた注文が次々と現はれるので輸出市場も相當の程度を保つてをるのに加はへて各國夫々過去1箇年餘に互る大々的の事業整理に依つて充分抵抗力が函養されたし國際的には激動を感じしむるが如き悲觀材料も消滅したので燦爛たる好況の出現は望むべくもないが國內の需要に關しても今にも斷未魔を思はせるやうな悲鳴を上げる者も無く一般に先行樂觀を氣構へるやうになつたので愈々大陸鐵鋼界好轉の時が來たのではあるまいか。

今や歐米を通じて物價が昂騰し景氣が振興しつつあるのは事實でそれが假令反動的傾向を含むとしてもローザンヌ會議の成功を轉期として起つた現象であるだけに罷業に依る硬化等と違つて近來にない根強いものと見られてゐる。

ブラッセル取引所相場表

	7月6日	7月13日
Blooms (6"-8")	—	—
id (5")	—	—
Billets (4")	1-18-0	1-18-0
id (2"-2½")	1-18-3	1-18-3
Sheet bars (assorted)	1-18-6	1-18-0
Steel bars	2-2-0	2-4-0 to 2-5-0
Ferroconcrete rounds	2-1-0 to 2-1-6	2-2-6 to 2-3-0
Joist (stand. sect)	1-19-0	2-0-0
Id (Brit. sect)	2-1-0	2-2-0
Angles (heavy)	2-2-0	2-2-0
Id (medium size)	2-2-6	2-2-6
Small angles (Sharp edged)	2-13-6	2-14-0
Rods (assorted ¾"-3/16")	2-7-6	2-7-6 to 2-8-6
Hoops	3-5-0 to 3-6-0	3-5-0 to 3-6-0
Tube strips	3-7-6	3-7-6
Plates (3/16")	2-12-0 to 2-12-6	2-12-0 to 2-12-6
Id (1/8")	2-14-0	2-14-0
Sheets (1/16")	3-5-0 to 3-6-0	3-5-0 to 3-6-0

ブラッセル齋藤囑託通信 7月17日發信

今回の大規模なるシャルロアを中心とせるポリナージュ地方炭坑ストライキは未増有の大事件にして共産黨の策動もあり旁々將に政治革命をさへ惹起せんとする勢力なりし次第故政府が極力全国的に擴大するを防止せるに依りリエージュ地方も幾分不穩なりしも無事着着明月瞭

日より全く秩序恢復作業を開始する事と相成候

されば今週の市場は爲に意外の強氣材料突發の爲各メーカーは一勢に強氣となりルクセンブルグ、メーカーの如き棒鋼 2-5-0 乃至 2-6-0 を唱へ居り候 相場大體次の如くに候

	Export	Inland
Bars	£ 2-4-0	fr. 430
Angles	2-2-0	420
Joist (N. P.)	2-0-0	420
" (B. S.)	2-2-0	430
Hoops	3-2-6	675
Plates (3/16" or 5mm)	2-13-0	520
Blooms	1-17-6	330
Billettes	1-18-0	350
Sheet bars	1-18-6	365

7月1日現在高爐活動狀態は

工場	火入中 基数	閉鎖 基数	24時間 出產トン
Sambut Moselle	7	—	2,750 t
Hainant	2	2	550
La Providence	5	—	410
Clabecq	2	2	500
Boël	3	—	650
Cockerill	5	2	847
Ougrée	6	4	1,426
Anglew-Athus	4	5	700
Espéiana	3	1	500

其他を合して自耳義合計 40 22 8,563 t
6月1日現在 42 20 8,887 t

大工場中今回のストライクの損害大なりしはラプロヴイダンスにして工場長の私宅は暴徒の爲焼拂はれ申候

東西市況—1段落

何10年來とかの酷暑も16日の一雨を境として涼風徐に都門を訪れて来て鶴首された秋も眼前に迫つたが市況は舊盆や來勘近いなど云ふことを勘定に入れて未だ頗る閑散である。然し此の閑散は、風先満樓と云ふ静けさか、本音の静けさかは9月10月にならなければ分らないが、先行山雨到ると見る者には政府の何億圓かの時局匡救豫算や、日銀の金利引下げ、或は甚だしい爲替の悪化など數へ上げ、猶東京では別項の丸鋼安定に氣を善くして居るが悪いと見る者は、好況不況は掌を反す様には行かずメーカーの腰もあまり強くもないから此邊が山で秋とて駄目だと云ふのである。

結局先行には一致した絶對の希望も繋かれず、一段落と見られて居る。

東京市況

丸鋼 6mmは漸く伸鐵の安値物が跡を絶つた爲め珍らしく前旬より1、20錢の反撥を見せた。遂此間12mmがベース並の取扱ひとなつたと思ふ暇もなく、今旬からは愈々9mm物が10把1からげのベース物に轉落した。今迄問屋と云ふものは自己の危険に於て賣買するのを生

命として居たのであるが今度東京丸鋼組合は先物は一切關東共販の販賣に委せて單に口錢に預ると云ふ1種のブローカーに轉じたとの事である。其事の是非善悪は別としてこれによつて所謂問屋としての機能は丸鋼に限つては全然失つた譯で正に問屋史上劃期的の事で將來の問屋と云ふものに對して一の問題を投げ掛けられたものである。その爲め流石のベースも協定の5圓40錢迄明瞭に引き戻し微動もしないとの事である。

こうなると將來の硬軟は一にメーカーの向背によることとなつた譯で其責任は甚だしく重大となつた。

中丸は荷凭れが祟つて不相變軟調。

角、平鋼 角も中丸と似たり寄つたりの態である、平は民間サイズは大した事はないが九州物は協定によつて5圓50錢以下は影を消したとの事であるが、あまりの高値は再び3度伸鐵物などの進出の機會を興へるものと警戒されて居る。

型鋼 中型山形は50mm、65mmなどに富士の進出を期待されて極度に悪化し此空氣は中型山形全般に響いて6圓臺を漸く保持してゐる程度と見られて居る。當所分野の大型物は1月の2萬噸も上半期でどうやら消化した處へ其後の手當が薄かつた爲めと、高値になると奇妙に品薄となると云ふ現象によつて弗々と品掠れも現はれ、どうやら先物値段までは伸びると云はれて居る。不等邊の6×65×75の9圓と云ふのを筆頭に溝形の3/8×3×6、工形の5.5×75×150、7×100×200、10×125×250など品薄を傳へられて居る。

鋼板 中板は共販の値上げ發表に連れて1段と飛躍し、1.6は愈々10圓の大臺突破となり需要も相當あつて強腰と云はれ、2.3は思惑買も擡頭して期待を繋かれ、3.2も1時8圓2、30錢を彷徨したものが少しの買漁りに此處まで反撥し、4.5は先行の契約も少ないと見られ特に5×10は前旬來氣を持つて居る。6.0は目先若干の實需ある模様で、7圓50錢を頑張つて居る、9.0mmもシャーが硬化し市場にも稀薄な爲め引き返し氣味と見られて居る、然し總じて此原因は東京市場自身の境地と云ふよりも、大阪の硬化を多分に映して居るものと觀察されて居る。

大阪市況

丸鋼 爲替は遂に25弗の大關門を割つた。實に開關以來の安値である。「圓助しつかりしろ」といひたくなる。で買ふものは高く、賣るものは安いといつた有様で従つて我鋼材界の前途に對しても樂悲兩論があるが兎に角物事は警戒してかゝるに越したことはない。

丸鋼は總じて荷動きは悪い方ではないが昨今の市場は

全く統制がとれてゐないため各問屋筋では先行不安視の態である。細丸は市中ストック漸減の有様にて大した悪材料も見當らぬところから前旬來 1、20 錢方引締つた。9mm は當所竝に伸鐵の在庫を眺めて相場は伸びぬが目先軟化すると思へない。民間寸法ものはメーカーの足並揃はぬため氣迷商狀を呈して居るがさりとて 5 圓以下の賣物はなく昨今の相場は先づ 5 圓 2、30 錢である。當所分野物は既報の如く賣行良好にて反撥氣味である。太丸は爲替關係で強含保合。

尾を切りて放つ蜻蛉や雲に入る

角、平鋼 角鋼は特に目立つたものはなく市中ストックは多い方ではないが荷動きを抄々しからざるため相場も 5 圓 6、70 錢を往來してゐる。平鋼は最近伸鐵原料高のため茲許強含み持合を呈してゐるが目先新規材料が見當らぬ限り急反撥はあるまいと見られてゐる。

型鋼 小型アングルは相變らず賣行抄々しからざるも過般共販の大巾値下げの効果が昨今幾分あらはれて來たのか伸鐵方面も最早や共販に對抗出來ざるものゝ如く相場は目下 5 圓 8、90 錢揃みであるが此邊が底と見る向きが多い。中形アングルは市中在庫普通に荷動きは引續き良好で且つ四圍の事情も好轉して來た關係上相場は 6 圓 50 錢カッチリに取引されてゐる。アウトサイダーの問題も昨今は各問屋共自重した態度を持してゐるので先づ懸念する必要もないであらうと云はれまことに頼もしい。大型アングルは先高氣配濃厚である工型鋼溝型鋼共に當所の徹底したる販賣統制振りに好感を持たれ前者は 7 圓 30 錢、後者は 8 圓 30 錢見當を唱へられ共にポテンシャルエネルギーを備へてゐる。

鋼板 1、2 中板は共販のコントロール宜敷きため市中在庫漸減、爲替安と相俟つて問屋筋の思惑買もあり相場は正にはね上つた態である。厚板の氣配は亂調子を傳へられてゐる。これは市場拔賣等の噂もあるので警戒されてゐる。唯 6mm は市中品掠れにて相當高値と呼ばれてゐる。

線材 既報の如く輸出は旺盛を極め且つ需要期接近と共に益々先高氣分濃厚となり昨今の替爲安と相俟つて賣手腰強く従つて相場は先旬來 50 錢方反騰した模様である。

鐵力板 未曾有の爲替安のため先高を見越して思惑買をなす手合があるため市中ストックは一部の問屋に偏在し従つて氣配は益々強調を示してゐるが一方實需方面は幾分警戒氣味にて従つてこの方面への荷動きは抄々しからず。

販賣旬報 第 206 號 昭和 7 年 9 月 2 日

製鐵所販賣部

鋼矢板の業跡と將來

1) 昨 6 年 5 月 4 日 八幡洞ヶ岡で本所製シートパイリングの打込式を舉行してから既に 1 ヶ年以上を經過した其の間型狀に於て 6 年 5 月製作開始の 2 號型から 7 年 3 月に 1 號型同 6 月に 3 號型を、數量に於て 6 年中 (5 月以後) 3,673 噸、7 年上半期 5,115 噸、計 8,788 噸を製作し、一方發賣當初より本年 8 月下旬までに 7,500 噸 約 100 萬圓を賣捌いて製鐵所當事者と矢板會の努力を物語り、順調なる進歩の跡を辿つてゐる。生産及販賣業跡は次の通りである。

月別生産高 (自製作開始至 7 年 6 月末)

6年											
月別	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計		
生産數量	7	—	—	544	1,312	162	—	1,648	3,673		

7年											
月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	計	合計			
生産數量	—	1,676	526	1,147	859	907	5,115	8,788			

型狀別生産高 (自製作開始至 7 年 8 月下旬)

2 號型	1 號型	3 號型	計
約 5,500 噸	" 2,000 噸	" 1,500 噸	9,000 噸

月別販賣數量

(自販賣開始至 8 月下旬) 契約月による

6年											
月別	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	7年			
販賣數量	1,366	2	—	1,677	637	199	3,931	1月	2月		
								248	109		

月別	3月	4月	5月	6月	7月	8月	計	合計			
販賣數量	428	519	86	1,516	564	2	3,472	7,403			

型狀別販賣數量

(自販賣開至 8 月下旬)

2 號型	1 號型	3 號型	計
4,606 噸	1,560 噸	1,237 噸	7,403 噸

2) 由來シートパイリングは關東大震災前にもボツボツ輸入されて居たが其の使途と效用が一般に認められ相當纏つて輸入され始めたのは昭和 2 年以後であつて今更云ふまでもなく昨年下期に至る迄は全く外國品の分野であつたが、本所の製作開始と同時に輸入の後退、本所製品の登場となり此處に本所品の進路が開かれて前記の如き歩みを續ける事となつた。然しながら、元來技術的に至難とされてゐる品種なので兎角注文に追はれ勝ちとなり、且つ型狀種別の僅少と云ふ憾があつて充分需要に間に合ひ兼ねたのと、折柄の金輸出再禁止後の泡沫景氣と關稅増率見越輸入の時代に相遇したので、6 年中の輸入 10,162 噸に對して 7 年上半期には既に 10,873 噸が輸入されて此の數字丈けを摘み上げて見れば一寸香しからぬ

現象を呈したが、6月16日の關稅増徴後7月末日迄は(6月中三港輸入38 噸は6月10日通關)只の1 噸も輸入されて居らないので本年上半期の輸入状態は決して本品の行衛に對する不安を暗示するものではなく特殊條件も手傳つた創業過渡期に於ける止むを得ない現象で、むしろ今後の輸入は可成速に減退し將來製鐵所品が名實共に獨歩の地盤を獲得するものと見てよいのではあるまいか。

尤も現在では鋼材一般に外注困難となりシートパイリングのみが輸入減退を來すと云ふのではないが本邦の製作成し得る型狀に關する限り外注驅逐を約束する原因としては

- 1、爲替の暴落、關稅の増率に依つて極度に輸入困難となつた事
 - 2、用途が大規模にして而も公共的性質を帯ぶるに依り主に官公署或は大會社の實需向なるに依り猥りに外注に走らざる事
 - 3、用途の性質上思惑に適せざる事
 - 4、製鐵所以外には當分製作不可能なるに依り適切且つ有効に外注品と競争成し得る事
 - 5、必要に應じ製作設備を完備せしむる力ある事
 - 6、販賣機關矢板會の統制完璧なる事
- 等を擧げる事が出来る。
- 3) 斯くの如く外注驅逐の要件を具備して居るので外注驅逐と、併せて將來の發展を期するのも決して夢想ではない。以下輸入と本所生産數量變遷の跡を探ねて更に思を將來に致してみやう。

昭和2年以降シートパイリング輸入及本所生産數量
本所製作自昭和2年至6年上半期 單位噸
開始以前

	2年	3年	4年	5年	6年	計
	上半期					
輸入數量	18,022	23,767	28,551	33,380	7,645	111,365
本所生産數量					7	7
計	18,022	23,767	28,551	33,380	7,652	111,372

本所製作自昭和6年下半期至7年上半期
開始以後

	6年下半期	7年上半期	計	6年計
輸入數量	2,517	10,873	13,390	10,162
本所生産數量	3,666	5,115	8,781	3,673
計	6,183	15,988	22,171	13,835

即ち年々2萬噸乃至3萬噸輸入されてゐたものが一躍1萬噸に激減したのである。而も需要は準次増加の傾向にあつた際とて國産品を以て外國品に取つて代らしむる利害得失は誠に大なりと云ふべきである。

以上の内6年上下兩期を通じての總供給數量は13,835 噸で遙に前年の33,380 噸には及ないが之れは製鐵所の製作開始を映して輸入を手控へたのに比例して本所品の供給が案外振はなかつたのと世界的經濟恐慌に相遇したの

に基因し、7年上半期の輸入數量が多いのは前記の輸入手控の反動と種々なる故障に依る本所製品のデリバリーに對する遲滯懸念と關稅増額見越等の輸入に依るので今後は輸入に少く本所製に多いと云ふ傾向に轉じ今年中に兩者の數字が食ひ違はないまでも極く近くまで歩み寄るのではあるまいか。

尙又6年の經濟恐慌時は論外として逐年輸入が増加したのは其の歴史の新しいのを示すもので殊に世界的不況の嵐がそろそろ荒び始めた5年に至つて最も多量であると云ふ事は明に此の間の消息を物語り新興品種として潑刺たる生氣が窺はれるではないか。

4) 然らば我國に於けるシートパイリングの需要は如何前述の如く未だ歴史が新しく而も論外の不況と本所の製作開始とが同時に起つた混亂時代なので判然たる統計に依る論據を捨て難いが5年の33,000 噸中翌年に持ち越された數量は約7,800 噸と云はれてゐるから5年下半期に不況が深刻化したと云ふハンディキャップを除外しても現在に於ては1箇年3萬噸以上の數量は本邦の市場に對する供給量としては過多ではあるまいか、さりとて6年の14,000 噸は過少で彼是總合して概念的には1箇年2萬5,000 噸前後と見るべきではあるまいか、然しながら元來主に大規模の土木事業に使用せらるゝ物である以上其の運命は國家の經濟と密接なる關係にあるので一概に測定されないのは勿論である。

所で製鐵所現在の製作能力は1箇年約1萬5,000 噸であり型狀に於てラルセンの12種テールージの8種に對して本所品は僅々3種である。(尙此の外に2種を試延中)

5) 斯くの如く好條件には恵まれて居り品質に於ては決して外國品に劣るのではないので將來の發展は期して待たるゝとは云へ製鐵所としても量的に今後一層精進の要があり同時に一身同體不可分の關係にある矢板會に於ても充分這般の狀勢を考慮して萬遺漏なきを期さなければならぬ。何事に依らず草創の蔭には尊い犠牲と並々ならぬ苦心の潜むものである今日に至るまでの製作者の苦心と販賣當事者の努力とに大いに敬意を表さねばならないが今後とも兩々相俟つて益々精進し斯界の全き成育を計り併せて良果を得られん事が切望される。之を要するにシートパイリングは若くして健康、前途は洋々として希望に輝いてゐる此の健康兒をして麒麟たらしめよ、御互に驚馬たらしめる責は負ひ度くないものである。若人シートパイリングよ幸多かれと祈る。

10、11月積當所先物の受注一申込1萬2,000 噸 三度目正直と云ふ諺があるが、引受數量調節の希望も正に三度續いて、今月に於て初めて其必要を生ずる様に

なった。

3 箇月以前から希望するからには、市場人にも何か申込の増加しそうな空気を感じて居つたのであろうが、中々思ひ切つた申込をするだけの餘裕が無かつたのであらう。8月の大阪の協議會の際に東西問屋の話を聞いても大した申込はあるまいとの事であつたが其後棒下げの爲替關係や共同火力だ何だかだと矢繼早の強氣材料に加へて株式や商品の奔騰が之に拍車を入れて、とうとう1萬噸突破と云ふ數量にしてしまつたと云はれて居る。

扱て1萬2,000噸の申込を眺めて買手側の要望たる「適當なる數量」を何處に決定すべきかと云ふことになつたが、どの買手も乃公の處だけ全部受けて呉れて他を全部蹴つて呉れよばよいと云ふ本音であるが、其を集めれば結局全部引受けねばならなくなるし、種々の事情を綜合して概ね半減と云ふこととし次記の通り5,780噸の引受と決定した。之が豫想通り市場に好感を與へたものか大阪高に引き續き別項市況にもある通り27、8日頃より東京も昂騰氣勢となり珍らしくも先物値段を上廻る様になつた。

申込の分野を見ると大阪の約1萬噸に對し東京が僅々2,000噸と云ふ數字である。8、9月積に珍しくも東西略同數量だつたのが異例で其前後は何としても大阪が4、5倍となつて居る。

それに6月の當所分野の値上げを機會としての好轉が珍しくも東京方が先鞭を付けたのに其後大阪は實勢を眺めて漸進し遂に東京をリードし現在は逆に東京が大阪に追従する様な有様となつた、之から見てもどうしても東京は大阪の力に及ばない様に感ぜしめられる。

恐らく實需を先物の中へ振り替えた關係と思ふが今月は例月と異つて等山が4,000噸以上工形鋼が3,500噸足らずとなつた、之に亞では現在大型物中の市場の龍兒溝形鋼が2,600噸である。

勿論先物數量だけが市場に注入される全部ではないが今年初頭からの先物の引受數量を計算して見ると先行の硬軟を判斷する好材料となるらう。

別表前月の引受1,800噸を今月と比較しただけでも教へられる何ものかがある。目先の材料も必要には相違な

10、11月積先物申込高

品名	揚地	東京	大阪	名古屋	其他	合計
角	鋼	—	—	—	—	—
平	鋼	—	—	—	—	—
等	山	601	3,800	—	—	4,401
不	山	320	1,177	—	—	1,497
溝	形	675	1,936	15	7	2,633
工	形	598	2,815	20	—	3,433
合	計	2,194	9,723	35	7	11,964

9、10月積先物引受高

品名	工場別	1、2小形	3小形	1中	2中	1大	2、3大	4型	合計
角	鋼	—	—	—	—	—	—	—	—
平	鋼	—	—	—	—	—	—	—	—
等	山	—	—	—	—	—	188	—	188
不	山	—	—	10	35	158	—	—	203
溝	形	—	—	—	125	253	319	85	782
工	形	—	—	—	—	—	626	25	651
合	計	—	—	10	160	411	1,133	110	1,824

いが過去の數字に據つて將來を判斷することもより以上緊要事たるを失はないと思はれる。

9、10月積鋼力板の申込と引受一申込3,200噸

800噸の賣出しに對して各社共揃ひも揃つて800噸宛を申込み、其の合計が800×4で3,200噸となつたのである。斯く「やらず、ぶつたり」的申込を見るに到つたのは外注高、需要期、品薄、一般商品高と好材料が折重つて先高が豫約されたからであると云はれてゐる。

文字通りの嘘八百づゝの申込は眞面目を缺く嫌がないでもないが斯うなつては需要が尠いの何だ彼だけは引き下つて此處當分國際聯盟總會の山が見える迄では此の調子を續けるのではあるまいか。

申込及引受數量は次の通りである。

9、10月積鋼力板の申込及引受數量表

店分	區別	申込數量	引受數量		引受合計
			100 lbs	170 lbs	
三	井	800	74	174	248
三	菱	800	55	129	184
岩	井	800	55	129	184
安	宅	800	55	129	184
	計	32,00	239	561	800

鋼矢板會

日時場所 8月19日 東京

出席者 製鐵所、鋼矢板會々員

議事 8月19日以後の賣出値段に關する件

1月19日八幡に於て賣出値段を145圓と決定して以來久しふりで建値を變更する事となつた、當時爲替は39弗臺であつたが、其の後の落調は目を追ふて急に外注は採算上入電毎に高値となつたので、他鋼材の事を思へば値段は夙に外注に追隨して引上げらるべきであつたが發賣後日尚ほ淺く矢板會共々一意宣傳に努めてゐた際とて多大の犠牲は覺悟の上で建値据置の儘需要筋の便宜を計つてゐたが關稅の増率に加へて今日では爲替23弗臺と云ふ豫想外の安値に落ち込んだので此處に愈値段は當然引上げられる機運に達して製鐵所、矢板會合議の上環境に順應して10圓上げの次記に決定した。

8月19日以後 噸當 155圓

三S會

日時場所 8月17日 八幡市製鐵所販賣部
出席者 製鐵所、三井、三菱、日立、高島屋
議事 0月及11月積珪素鋼板賣出しの件

外注沖着値段は前回と全く變りないが爲替の暴落に依り河岸着値段に大差を生ずるに至つたので必然値段改正を要する状態となつたが時節柄大幅値上と漸次値上の兩論に分れ論議數刻漸く別項の値段に決定した。

値段及附隨事項次の通り決定。

1、値段 次記は8月23日迄に申込のものに適用

(イ) 電働機用珪素鋼板 B1級

函入ノモノ 1 噸 = 付 金 250 圓

裸バンド " 金 240 圓

但裸散積ハ以上賣價ノ金 1 圓也引ノコト

(ロ) 電働機用珪素鋼板 D1級

函入ノモノ 1 噸 = 付 金 280 圓

(ハ) 變壓器用珪素鋼板 T1級

函入ノモノ 1 噸 = 付 金 350 圓

(ニ) 2級品 2割以内混入差支ナシ

2級品ノ賣價ハ各々 1級品賣價ノ金 30 圓引ノコト

(ホ) 珪素鋼板厚物ハ本月ニ限り夫々各種賣價ノ 1 割引ノコト

Tokio, Aug. 10th. 1932.

LATEST CURRENT PRICES OF ELECTRICAL STEEL SHEETS

0.014" (0.35mm) x 3' x 6'

	English (Ex. 1/4)		German (Ex. \$ 26)
	Stalloy (T)	Special Lohys B)	Bismarkhutte (B)
Cif or C & f. Yokohama	£ 27-11-6	21-12-6	\$ 60.00
Exchange	¥ 367.67	¥ 288.33	¥ 230.80
Marine Ins.	—	—	7% 1.61
Draft Interest 1.3%	4.78	3.75	3.00
Import duty	6.77	6.77	6.77
Landing charges	1.10	1.10	1.10
per long ton	¥ 380.32	299.95	¥ 243.28
per 1,000 kgs.	¥ 374.31	295.22	¥ 239.43

2、10月積以降珪素鋼板輸送に關する件

a. 荷造

珪素鋼板ハ今後函入トスルコトヲ原則トス

但シB級品ニ限り協定ノ上裸取扱ヲナス

b. 積出

(イ) 現品函入モノ 指定河岸渡ノモノハ 指定河岸迄持届ケノコト

(ロ) 現品函入貨車載渡ノモノハ目的地ニ 近イ本所指

定河岸驛迄船送リトシ夫レヨリ 無蓋貨車ニ積換ヘ入念ニ防水「シート」ヲ掛ケタル連絡輸送トスルコト

但シ鐵道輸送中ニ於ケル諸事故ニ對シテハ本所ハ其責ヲ負ハザルモノトス

(ハ) 現品裸バンド締ノモノ(B級品ニ限ル)ハ希望ニ依リ指定河岸渡取扱ヲナス

但シ此場合船送リノ爲メニ生ジタル事故一切ハ本所其責ヲ負ハザルモノトス

(ニ) 現品裸散積及裸バンド貨車載渡ノモノハ八幡ヨリ有蓋貨車積トシ直送ノコト

三 軌 會

月日場所 8月17日 八幡市製鐵所販賣部

出席者 三井、三菱、製鐵

議事 下る、爲替は下る。一般鋼材に比較して莊重なる程値段が強いレールに益々採算高が報ぜられて何だか喜んでよいのか悲しんでよいのかわからなくなる位だ。然し此際爲替を一杯の取るは些か面はゆい氣持もするし一方折角起らんとする實需方面にも嫌氣を起させると云ふ理由で今期(8月、9月)は堅實な騰勢を示すことになつた。

1、一般賣(繼目板込) 125 圓也

1、繼目板のみの場合 170 圓也

クレオソート油及ピツチの近況

1、輸出向クレオソート油大口契約成立

引續き當所が萬全を期しての輸出による緩和策も、内地需要の著しい減退によつてクレオソート油過剩の徴候は全般的に再び濃厚となり、1、2の大口生産會社方面でも當所へ倣つて極力輸出に新路開拓を傳へられて來た。内地で主要の需要先と云へば鐵道に限られて居るから一般の需要大不振の折柄必然的に來るべき所に來たと見るべきであらう。

世界的の不況は米國でも本品の大過剩となり爲替暴落にも不拘輸出商談に少なからぬ暗雲を漂はして居るが、幸に當所との取引は其後も圓滑に運び本年11月迄の渡として更に5,000噸の大量契約を成し、過日其の第1回積1,650噸餘の受渡を了へて滿珠丸の出帆を見た。

例によつて既報昨年9月積以降の輸出量を示すこととする。

積込時期	船名	數量
7年3月下旬	滿珠丸	3,615 噸
" 6月上旬	"	1,102 噸
" 8月下旬	"	1,654 噸
計		6,371 噸

2、ピツチ需要激增 多年需要不振のためその處分に

苦しみぬいたピッチも曩に需給の變轉から手持在庫の賣盡しを報じたが、其後引續き煉炭使用の増加によつて新に朝鮮方面よりも大口需要が殺倒し遂に本年度渡は供給量の不足を告げるに至つた。當所としては殆んど稀有の現象で一頃新規の所內的處分方法まで眞剣に考究されたことを思へば全く今昔の感がある。

此の不足状態は獨り當所のみならず1部生産會社では賣物皆無を看板に相當高値を突張り「此處暫は買手先の選り喰ひだ」とは同慶至極だが、從來の若い需給の歴史を顧て今からお互に反動現象に處するだけの充分の覺悟が必要であらふ。既報の本年1月以降に於ける契約高次の如し

契約時期	7年3月中	4月中	6月中	7月中	8月中	計
契約數量	4,300噸	11,600噸	1,560噸	1,500噸	4,500噸	23,460噸

9、10月積線材申込及引受高一申込 (内地向 2萬噸突破 輸出向 8,000噸)

8月19日締切つた9、10月積線材の申込及引受數量は以上の通りである。賣出當時には製品安の、需要連れて興らないの、安植物横行のと兎角愚痴が飛び出すのが物價高は必然の勢となつたし爲替25弗4分1を以て外注値段を算定した賣出當時に比すれば今日は早くも23弗臺となり尙先行落調を見越されて居る上に在庫も減少した折柄愈々需要の最盛期に直面したのは喰ひ附いて振り廻し度くなるものなるのも御尤で扱て蓋を開けて見れば御覽の通り申込は鯁昇りの美事に2萬噸を突破した。

外注との値鞆も大きく目先好材料のチラツイてゐる今日、此處で御釜を興さうとする御心は御察し出来るが先にや蛇も居る鬼もある線材の事であるから精々浮氣を制して御家繁昌を計つて戴き度いものである。

輸出も數量増加を熱望した丈けに2,000噸の引受に對して8,000噸と約4倍の申込があつた。

將來或は持ち上るかも知れない線材戰國時代を切り抜ける一方の血路は海外進出で今から其の道を求め究めてをくのは誠に喜ばしい傾向であるがメーカーとして今日思ひ切つた數量の賣出を控へなくてはならないのも例の「不安」があるからで若しそれが外力を以て如何とも成し難い性質のものならば當業者自らの誠意に訴へるより他に道はないので何とかして自力を以て道を拓く要があるのではあるまいか。

近來販路擴張、輸出股賑の報が頻に傳へられてゐる際表面から見ればそれを裏書するかに思はれる申込があつたので一層健全なる發展を願ふ次第である。

9、10月積線材申込及引受高

區別	申込高			引受高			
	神戸	製鐵所	計	神戸	製鐵所	計	
向先	—	7,800	7,800	—	3,052	3,052	
内地向	東京	7,410	4,980	12,390	4,000	1,718	5,718
	大阪	—	130	130	—	130	130
	名古屋	—	100	100	—	100	100
	八幡	—	100	100	—	100	100
計	7,410	13,010	20,420	4,000	5,000	9,000	
輸出向	7,935	7,935	890	1,110	2,000		

厚板共販理事會—9月積賣出

日時場所 昭和7年8月19日 於甲子園ホテル
出席者 製鐵所、淺野、川崎、東海各理事外に4社
主なる議事 9月積先物賣出に就き協議する處あり。
爲替安に外注採算は益々高く内地値段の開きは已に10圓を見せてゐるが、他製品との均衡よりも又市場をリードする意味合よりも漸進主義が最も妥當なりとの意見に一致し先高を含めて次記の通り1圓上げに決定發表せり

- (1) 先物値段 耳附 68圓 (1圓上げ)
定尺 76圓 (〃) 切板 77圓 (〃)
 - (2) 隨時引合 切板 71圓 定尺 79圓 耳附 79圓
- 備考 外注採算次記の通り。

Cif	Ex	換算
£ 4-10-0	¼-⅞	¥ 89.52 K. T.

9、10月積厚板共販の締切—申込俄然4,500噸

9、10月積厚板の締切は例の通り別に理事會を開催せずに8月27日に申込引受の決定をした。

環境を映すこと厚板程敏感なものはない。先月は積遅れ問題とか、在庫豊富とかを理由にタツタ500噸の申込しか見なかつたのに今月は俄然4,000噸に飛躍した。

原因として取り立て、云ふ程のものも見當らぬが、外注高の割に安値に決定された事や何となく大口需要の勃興する様な氣配が見えると云ふ様な事を考へてこんな數量となつたと見られて居る。

他鋼材も需要期に向つて相當需給のバランスが採れて來て見直して來たから、厚板の將來も哺育次第で好轉するものと見て居る筋が多い様である。

猶次記申込通り總て引受けることに決定した。

申込數量 (引受數量)

耳付	定尺	切板	計
3,140 噸	1,482 噸	—	4,622 噸

黑板共販理事會—9月積賣出し—組合解消

日時場所 昭和7年8月23日 於甲子園ホテル
出席者 製鐵所、川崎、徳山、日鋼及中山各理事外に4社側

主なる議事 存續問題に就き過日來種々折衝を試み、各社の意思の疎通を計る爲凡ゆる努力を傾注して來たが

此を機會に、より強固なる統制組織に改め各種共販の模範たらしめようとの論が力強く主張せられてゐる爲、此が具體案を得るには尙相當の日子を要することでもあり且つ從來の行き懸りを捨て、新しきスタートに立ちかへつて論議をすることが寧ろ改造問題を容易に解決せしめるであらうとの意見に一致し組合は8月末日を以て先づ打切ることとなつた。

然し2箇年に亘る共販生活に於て統制の必要は各社とも等しく痛感する處で、恐らくは此の1箇月間、新組合の設立に向つて更に寧日なき努力が拂はれることであるが、此の間に於て萬一市場の動搖を招來することあつては「生るべき新組合の活動に支障を來すこととなるので組合員凝議の結果生るべき新組合の爲めに此の間協調の態度を持続し販賣上の協約を結んで我が市場の動搖を招來せざらんことを」確約した。

以上確約に基き共販最後の9月積賣出を實行することとなり急遽4社を招集して協約に入る。

4社希望 新組合設立は各理事者の眞面目な御努力に依り恐らくは實現するものと確信するが要は市場が共販を買ふか買はぬかで現在の状態では一抹の不安はまだ殘されてゐる。突然の招集で何等の準備もない爲何とも申上兼ねるが市場を憶測して間違ない希望を述べれば内外共115圓に願度し。

理事側意見 外注採算は論外に置くも、數箇月買控へて來た市場には殆んど在庫は皆無であり、且需要期に入るのを考へると5圓上位は當然であるが、新組合の設立を報告しての賣出ではないから其の點を加味し内地2圓上げ輸出5圓上げが妥當なりとの意見に一致し次記の通り發表せり。

1、賣出數量

薄物	
内地向	10,000 噸以内
輸出向	制限無し
厚物	制限無し

2、値 段

薄物部	
(イ)内地向	125圓(2圓上げ)
(ロ)輸出向	115圓(5圓上げ)

厚 物 部

12 枚物	123 圓(2圓上げ)	7 枚物	113圓(2圓上げ)
11 枚物	121 圓(")	6 枚物	111圓(")
10 枚物	119 圓(")	5 枚物	109圓(")
9 枚物	117 圓(")	4 枚物	107圓(")
8 枚物	115 圓(")	3 枚物	105圓(")

格差從來通り 厚物の輸出向値段は内地同様とす。

黑板共販理事會—9月積締切

日時場所 昭和7年8月26日 於甲子園ホテル
出席者 製鐵所、川崎、徳山、日鋼、中山各理事
外に4社側

主なる議事 市中在庫の減少と需要期を控へて相當の

注文を豫期してゐた處、薄物のみで1萬8,000噸の申込殺倒、共販成立を確信しての買人氣であらう。

セイラースオープンに依り次記の通り割當を終つた、元より共販は8月末日を以て一時解消するが其の間協約を交してゐるから是以上市場に出ることはないから其の點は從來同様安心していゝわけである。

(1) 申 込 薄物部	内地	輸出
	18,229 噸	8,107 噸

厚 物 部

A	B	C	計
5,873 噸	2,538 噸	1,782.5 噸	10,193.5 噸

(2) 引 受 薄物部

内地	川崎	製鐵	中山	徳山	日鋼	計
輸出	6,000 噸	1,900 "	1,270 "	470 "	370 "	10,010 "
	3,000 噸	500 "	300 "	92 "	70 "	4,962 "

厚 物 部

	川崎	製鐵	徳山	日鋼	計
A	2,128.5	205	506		
B	640	—	688		
C	380	—	674		
計	3,148.5	205	1,868		

報告未到着に付次報に掲載す

ブラツセル齋藤囑託通信 8月23日 入電

市場閑散なれども先行好轉を期待さる。相場變らず
8月30日 入電 市場活氣づく、相場次の通り。

棒鋼	大型山形	中小型山形	工形(B.S)
2-4-0	2-3-0	2-4-0	2-2-0

鋼板(3/16")	シートバー	ピレット(4")
	(assorted)	
2-12-0	1-18-6	1-18-0

東 西 市 況—曙光見ゆ

平年に比ぶれば勿論荷動きは尠いが流石に季節は争はず暑いと云へ一雨ごとに涼氣の増すに従つて稍荷動きの見るべきものがあると云はれて居る。特に旬末は來勘關係もあり旁々此法外な爲替安も目先一寸立直る様にも感せられないので外注の採算高が益々甚だしく、安値物の入手も愈々困難と見て高値に引き摺られたい氣持は動いて居るが思ひ切り強氣になるだけの需要がないので精々賣惜みで時機待ちの姿と見られて居た。

處が27日頃から、東京でも當所の引受制限と他の商品界の活況を買つて大型物に火が付いた形で30日頃には一舉3、5圓の奔騰を示して大阪の騰勢に追従したとの事であるが、此は今秋に於ける初期微動で之が單なる微震に終るか、或は驚天動地の大搖れを出現するかは不明ではあるが兎に角一縷の曙光を認めた事に間違ひはないと云はれて居る。

東京市況

丸鋼 6mmは伸鐵物としては大阪から相變らず着の53圓程度のもが来るが其數量も僅少であるし、東京では此處暫く手を付けないので手薄となつて6圓20錢を保合つて居る。9mmも變な賣物が漸く跡を絶つて聊か見直した觀があり、12mm以上は組合の協定値段たる5圓40錢は、辛ふじて維持して居るがそれも置揚も持込も區別がないと云ふ程度で現在では上げるも下げるもどちらへも動くだけの元氣はないと見られて居る。中丸以上は25日頃から一寸した實需でもあつたのか買漁ものが出て来て小腕りを傳へられて居る。

角、平鋼 角は下支への程度を保持し、平も製鐵サイズの申合せ値段は守られて居り、民間サイズも之に引かれて其線迄伸びるだけの力が出て来ただけ好望と見られて居る。

型鋼 小型は悪ければ悪いなりに固まつて2、3圓の順鞘と云はれ、只中型山形だけは引受に就てのゴタゴタが納まらず未だ海のものとも山のものとも見當が付かないので遂に臺割れとなり決定待ちの姿と見られて居る。製鐵分野の大型物は大阪の狀勢から云ふても伸びる理屈ではあるが極端な消化不良を理由に思ふ程は好轉しないが先行には相當期待を持たれて居る。其内でも溝形が最も好調で工形之に次ぎ山形鋼が一番冴えないと見られて居る。

鋼板 中板は氣味の悪い様に硬化を續け外注値段もさる事ながら16など11圓の呼聲さへ聞こえる様になつた、然しあまり高値な爲めピクピクもので買氣は一寸銷磨した様に傳へられて居る。23も品薄で不相變思惑買も横行して居る。32は3×6少なく、45は他に比して安値なのが買はれて強腰となり、60以上は問屋のストックは勿論なく一にシャーの硬軟に懸つて居るがそれが近來急に強腰となつたので好轉した。(26日誌)

大阪市況

丸鋼 概して市中ストックは漸減の態である。大口注文も弗々あらはれ初め、爲替慘落、秋の需要期接近と共に先高を氣構へて賣手は強腰を唱へ我鋼材界は部分的に異常な躍進振りを發揮し従つて一部商人は目下有頂天となり京都の伏見稻荷大明神へお禮參りをしてゐるものもあるとの事である。兎に角各問屋共目下50圓以下には賣應じないことは事實である。

6mm及び8mmは前旬と大差なく賣行も弗々程度で従つて市中相場は57、8圓見當である。9mmは伸鐵物の出廻り順調にて不冴。12mm以上のベースものはメーカーの減産の聲も知らぬ顔に相變らず伸鐵品にリードされて

ゐる、これは本格的の需要が擡頭せぬ限り好轉は覺束ないものと見られてゐる。中丸は先般値上げ發表と共に氣配は幾分見直し市中在庫漸減し相場は63圓と光つてゐる。就中50mmは賣行良好にて目下64圓搦みを唱へられてゐる。太丸は凡調。

秋立つや雨乞衆の禮參り

角、平鋼 角鋼は總じて丸鋼市況よりは良好である。従つて相場も57圓—60圓を彷徨してゐる。8mm、9mmは最近滿洲より驢馬の蹄鐵用としての大量注文あり幾分活況を呈してゐる。平鋼は日用品の事として荷動き弗々あり且つ最近地方よりの引合も相當あるので先行樂觀視されてゐる。

型鋼 小形アングルは中形に比し10圓搦みの安値を示し所謂正反對の相場を呈してゐるが諸種の事情よりみて市場は漸次好轉するであらうと云はれてゐる。中形アングルは引續き堅實な足取りを見せてゐる。然し乍らこのものは丸鋼に比較して相場は高すぎるやうであり従つて目先これ以上の反撥は先づあるまい。50、65、75等は中形もの、花形として64、5圓見當に取引されてゐる大形アングルは市中品掠れにて氣配は益々硬化しつゝあり。工形鋼、溝形鋼共に當所値上げ發表に追隨しまことに堅實な足取りを見せてゐる。

鋼板 1、2中板は最近積遅れにて従つて市中極端なる品掠れを現出し商談も相當あるところから一般に賣惜みの態で相場は反騰を重ねまことに鐵材中の王座を占むるに至つた。厚板は建築方面よりの需要擡頭したため市中品薄を傳へられ爲替安、其他共販の強腰等を眺めて市況は一段と引締つた。

線材 相變らず保稅品の積戻旺盛を極め従つて内地品もこの活況を移して相場はぐんぐん昇騰し9月の聲を聞いて急反撥を演じた。目先も硬化氣構へである。

鉞力板 爲替と密接な關係にあるオイルサイズは賣行益々良好にて従つて相場は反騰の一途を辿るのみと云はれてゐる。170封度、100封度ものは相場は別表の通りであるがこれはノミナルにて實需は依然不振を極めてゐる様子である。

線材、薄板、鐵力板輸入速報集

區分	8月上旬				8月中旬				8月下旬				合計
	神戸 自7月29日 至8月8日	大阪 " "	横濱 自7月28日 至8月8日	合計 自8月9日 至8月18日	神戸 " "	大阪 " "	横濱 自8月9日 至8月17日	合計 自8月19日 至8月27日	神戸 " "	大阪 " "	横濱 自8月18日 至8月26日	合計	
品名													
B. W.G.No.5	19	16	—	35	—	—	—	—	—	102	—	102	
線材	43	32	—	75	—	—	105	105	—	184	51	235	
其他	62	48	—	110	—	—	105	105	—	286	51	337	
8月計	—	—	—	—	62	48	105	215	62	334	156	552	
薄板0.7mm以下	—	4	—	4	—	4	—	4	—	—	—	—	
8月計	—	—	—	—	—	8	—	8	—	8	—	8	
鐵力板	533	—	1,579	2,112	71	51	—	122	5	155	978	1,138	
8月計	—	—	—	—	604	51	1,579	2,234	609	206	2,557	3,372	

東京大阪市中相場 (單位噸)

寸法	8月上旬		8月中旬		8月下旬	
	東京 8月8日	大阪 8月5日	東京 8月18日	大阪 8月17日	東京 8月26日	大阪 8月25日
丸鋼						
6mm	6.00	5.70	6.20	6.00	6.20	5.80
9	5.40	5.30	5.40	5.20	5.40	5.20
12	"	"	"	"	"	5.25
19	5.35	"	"	"	"	"
25	"	"	"	"	"	"
50	5.80	6.00	5.70	6.40	5.80	6.35
65	"	"	5.75	6.30	5.85	6.20
角鋼						
9mm	5.80	5.60	5.70	5.70	5.70	5.65
12	"	5.70	"	"	5.65	5.60
15	5.70	"	5.65	"	"	"
19	"	"	"	"	"	"
38	5.75	5.75	5.70	"	"	5.70
平鋼						
6mm×38mm	5.55	5.50	5.50	5.40	5.50	5.40
6×50	"	"	"	"	"	"
6×75	5.60	5.55	5.60	5.60	5.55	5.50
9×100	5.70	5.60	5.70	5.70	5.80	"
12×100	"	"	"	"	"	"
等邊山形鋼						
mm mm mm						
6×50×50	6.15	6.40	6.05	6.40	5.90	6.40
6×65×65	6.05	"	6.00	"	5.95	"
9×75×75	"	"	"	"	5.90	"
9×130×130	6.80	7.00	6.95	7.10	7.00	7.10
12×130×130	6.90	7.10	7.00	"	"	"
15×150×150	"	"	"	7.20	"	7.20
不等邊山形鋼						
mm mm mm						
10×50×75	6.90	7.00	6.90	7.10	7.00	7.00
10×75×100	6.30	6.40	6.30	6.45	6.20	6.40
10×90×125	"	"	6.20	6.40	"	"
9×100×150	6.90	7.00	7.00	7.10	7.00	7.10
12×100×150	"	"	"	7.20	"	7.20

寸法	8月上旬		8月中旬		8月下旬	
	東京 8月8日	大阪 8月5日	東京 8月18日	大阪 8月17日	東京 8月26日	大阪 8月25日
溝形鋼						
mm mm mm						
5×50×100	7.10	7.10	7.00	7.30	7.00	7.40
6×65×125	7.80	8.20	7.80	8.10	8.00	8.40
3/8×3'×6'	7.90	8.10	8.00	8.00	8.10	8.30
3/8×3×8	7.00	7.10	7.00	7.00	7.00	7.10
9×90×250mm	7.80	8.00	8.00	8.00	8.00	8.20
10×90×300	"	"	7.90	"	8.10	"
工形鋼						
mm mm mm						
5.5×75×150	7.20	7.00	7.30	7.10	7.30	7.10
7×100×200	7.10	7.40	7.20	7.40	7.40	7.40
9×150×300	7.00	"	7.00	7.10	7.00	7.60
12×150×300	7.10	7.10	7.10	6.80	7.10	7.30
10×125×250	7.00	7.20	7.00	7.20	"	7.20
鋼板						
mm						
1.6×3'×6'	9.80	10.00	10.20	10.60	10.80	10.60
1.6×4×8	9.85	"	10.30	10.70	"	11.00
3.2×4×8	8.45	8.90	8.60	9.20	8.75	9.20
3.2×5×10	8.60	9.20	8.70	9.40	9.20	9.50
6.0×4×8	7.45	7.70	7.50	7.60	7.70	7.70
6.0×5×10	"	"	"	7.90	"	7.80
9.0×4×8	7.10	7.35	7.30	7.50	7.60	7.60
9.0×5×10	"	"	"	7.40	"	"
薄鋼板(13枚)						
英	—	45	—	45	—	45
川崎	46	45	46	45	46	48
八幡	46	45	46	45	46	48
鐵力板						
米	{170lbs 20.00	20.20	23.00	25.00	24.00	26.00
	{100 11.00	11.50	12.00	13.00	13.00	13.00
英	{170 17.30	17.80	19.50	20.00	22.00	22.60
	{100 9.30	9.70	10.00	10.40	11.50	11.30
八幡	{170 17.30	18.00	19.50	20.00	22.00	22.80
	{100 9.30	9.90	10.00	10.50	11.50	11.50
線材						
No.5#	83.00	81.00	83.00	81.50	87.50	84.00

備考 單位 100 噸につき (置場値段)、但し薄板は 1 枚當り。線材は噸當り。鐵力板は 1 箱當り。

昭和7年6月中當所品種寸法別生産高 (其ノ一) (單位噸)

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數
棒鋼の部		中型角鋼		中型等邊山形鋼		乙形鋼		厚鋼板		縞中鋼板	
小型丸鋼		38mm	327	65mm	784	mm mm mm		6mm	1,334	4.5	174
9mm	4,403	40	6	70	26	70×50×40	31	6.5	2	計	174
11	1	44	25	90	110	100×50×40	10	7	15	縞厚鋼板	
12	86	46	10	100	241	100×70×60	1	8	520	6mm	130
13	3	50	21	計	1,161	130×70×60	9	9	206	8	50
14	2	60	12	大型等邊山形鋼		計	51	10	292	9	12
15	5	65	504	mm		丁形鋼		11	120	12	1
16	75	75	467	130	842	5'×3'	16	12	237	計	193
18	12	90	63	150	402	5×4	6	13	107	耳付縞中鋼板	
19	43	100	267	200	312	計	22	14	57	4.5	18
20	7	計	1,702	計	1,556	鋼失板		15	12	計	18
21	28	大型角鋼		等邊山形計		計	907	16	222	耳付縞厚鋼板	
22	436	120mm	34	3,070				17	5	8mm	3
24	25	125	50	中型不等邊山形鋼		型鋼計	10,104	18	28	9	60
25	26	130	16	mm mm		條鋼計	23,122	19	131	12	10
26	4	計	100	65×50	20			20	365	計	73
28	40	角鋼計	2,525	75×50	141	鋼板の部		22	162	ユニバーサル鋼	
30	1	小型平鋼		75×65	176	薄鋼板		23	1	9mm	2
32	86	19mm	57	80×60	7	sheet		24	16	12	1
34	13	22	274	100×75	294	7	116	25	521	計	3
36	8	25	179	4'×3½'	1	8	43	28	111	珪素鋼板	
其他	6	32	474	計	639	10	2	28.6	2	mm	
計	5,310	38	3	大型不等邊山形鋼		13	2,148	30	14	0.35	584
中型丸鋼		44	7	mm mm		5mm	3	32	22	0.43	17
38mm	10	50	14	125×75	394	7	1	33	1	計	601
44	47	計	1,008	125×90	497	B.W.G.No		36	3	鉄力板	
48	5	中型平鋼		150×100	928	30	4	38	6	170	1,988
60	270	65mm	16	5'×4'	17	計	2,317	45	3	112	78
65	4	70	77	不等邊山形計	1,836	中鋼板		60	1	107	155
70	110	75	282	溝形鋼	2,475	1mm	7	½"	1	100	350
75	429	90	197	6'×2½"	159	1.2	18	計	4,519	95	299
80	38	100	129	6×3	176	1.5	3	耳付中鋼板		90	3
90	273	125	4	7×3	4	1.6	1,269	5mm	1	33	26
95	57	3%	418	7×3½	31	1.8	11	5.5	1	31	6
100	585	計	1,123	8×3	90	1.85	100	計	2	30	806
計	1,828	平鋼計	2,131	mm mm		2	112	耳付厚鋼板		29	263
大型丸鋼		六角鋼		100×50	422	2.3	323	6mm	1,281	計	3,074
mm		計	1	380×100	573	2.4	2	7	6	其他鋼板	
110	115	スケルブ		計	1,455	2.5	11	8	62	不銹鋼板	6
115	146	計	933	工形鋼		2.6	5	9	124	電氣爐板	2
120	23	棒鋼計		mm mm		2.9	9	10	9	飛行機板	8
125	6	計	13,018	100×75	149	3	23	11	158	艀付鋼板	69
計	290	型鋼の部		125×75	163	3.2	2,032	12	94	庖丁材	37
丸鋼計	7,428	小型等邊山形鋼		200×100	183	3.5	12	13	28	美裝鋼板	6
小型角鋼		20mm	27	200×150	26	4	33	14	22	鋼板計	17,874
12mm	4	40	152	230×100	50	4.5	799	15	2		
13	126	45	88	250×125	53	5	84	16	26		
16	1	50	86	350×150	438	5.5	5	17	2		
19	23	計	353	400×150	635	B.W.G.No		19	6		
22	78	型鋼の部		450×175	7	18	1	20	52		
25	44	小型等邊山形鋼		20"×7½"	420	計	4,856	21	1		
28	108	mm mm		計	2,124			22	16		
30	143	100×75	149					24	2		
36	196	125×75	163					25	25		
計	723	200×100	183					計	1,916		
		200×150	26								
		230×100	50								
		250×125	53								
		350×150	438								
		400×150	635								
		450×175	7								
		20"×7½"	420								
		計	2,124								

昭和7年6月中當所品種寸法別生産高 (其ノニ)(單位噸)

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數
軌條及 附屬品の部		線材の部		同 角 其 他	13 2	銑 鐵		シートバー			
重軌條		線 材		計	73	本 所 戸 畑 洞 岡	38,551 9,904 17,049	外 部 内 部 計	15,222 5,655 20,877		
30 ^K	5,507	5.5	3,663	其 他		計	65,504	短尺及屑鋼			
37	775	計	3,663	外 車 鋼 輪 ボ 軸 ー ト 線 ナ ツ ト リ ベ ッ ト 座 鐵	201 109 29 29 27 1	合 金 鐵		短 尺 屑 鋼 計	840 1,127 1,967		
40	9,011	製 釘 材		計	396	フ エ ロ シ リ コ ン	40 40				
45	279	5.5	3,573			鋼 塊					
50	1,536	計	3,573			普 通 電 氣 坩 埚 鑄 造	9,973 706 17 561				
75	615	線材計				計	11,257				
計	17,723	7,236				鋼 片					
輕軌條		其他鋼材の部		其 他							
6 ^K	775	鍛 成 品		鋼 材 計							
計	775			469							
附 屬 品				鋼 材 計							
繼 目 板	627			67.837							
ス パ イ キ	1										
ト ラ ッ ク ボ ー	10										
ル ト ナ ッ ト											
計	638										
軌附計								外 部 内 部 計	6,103 64,727 70,830		

昭和7年7月中三港鋼材輸入數量表 (單位噸)

品 種	區 分	神 戸	大 阪	横 濱	7 月 計	前 月 計	本 年 累 計	前 年 同 期 累 計
丸角平等	鋼	177	232	209	618	573	4,648	3,890
	鋼	30	—	29	59	169	850	514
	山	107	127	412	646	526	4,215	1,970
不溝工鋼板 (0.7mm超)	形	51	—	—	51	20	671	62
	超	32	—	2	34	—	540	182
〃 (0.7mm以下)	形	—	—	4	4	237	279	383
	超	452	253	254	959	1,732	607	1,101
鉄軌線	力	91	8	184	283	805	10,606	7,920
	條	1,138	1	3,560	4,699	4,297	39,689	19,852
	材	438	365	1	804	972	2,515	2,195
シートパイピング鋼	管	192	198	408	798	1,535	14,905	37,354
	他	—	—	—	—	38	6,439	5,440
其 計	管	2	52	221	275	1,094	4,147	5,678
	他	259	73	250	582	731	5,783	3,318
		2,969	1,309	5,534	9,812	12,729	101,581	92,535
硫石ナク	炭	—	152	305	457	203	82,425	86,609
	タ	—	—	—	—	—	147	85
	リ	—	—	—	—	431	2,498	1,445
	ゾ	56	—	22	78	36	499	330

昭和7年7月中神戸、大阪、横濱三港輸入鋼材品種寸法別數量表 (其ノ一)(單位噸)

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數
棒鋼の部		4	2	半圓鋼		mm mm		鋼板(0.7mm以下)		線材の部	
丸	鋼	4½	2	計	51	230×90	12	B.W.G.No.		線	材
		5	3	造船材料		250×90	2	30	167		
		5½	3	計	6	計	21	U.S.G.No.			
¾"	15	6	4	半圓鋼計	57	型鋼計	109	24	90	B.W.G.No.	432
¼"	20	計	24	六角鋼		條鋼計	1,544	0.35mm	25	5	14
⅝"	10	丸鋼計	609	計	47			計	282	4	65
⅞"	3	角	鋼	八角鋼		鋼板の部		電氣鐵板		3	34
¾"	9	¼"	16	計	15	鋼板(0.7mm超)		mm		0	99
⅞"	47	⅜"	2	其他の棒鋼		⅝"	2	0.35	10	00	153
½"	14	⅝"	9	計	4	⅜"	408	0.5	105	線材計 797	
⅝"	1	⅞"	3	其他の棒鋼		¾"	3	B.W.G.No.		鋼管の部	
⅞"	1	¾"	4	計	4	⅝"	114	24	60	鋼	管
⅝"	12	⅞"	4	棒鋼計	1,435	⅞"	4	計	175	¾"	29
¾"	109	1	4	型鋼の部		⅞"	7	縞鋼板		1	18
⅞"	26	1½"	4	等邊山形鋼		⅞"	3	鋼板		2	5
1	28	1¾"	2	1"	10	⅞"	2	縞鋼板		5	11
1½"	5	計	59	計	10	⅞"	7	縞鋼板		8½"	1
1¾"	9	平	鋼	造船材料		⅞"	10	縞鋼板		mm	
1⅝"	15	¼"	2	75mm	21	⅞"	13	縞鋼板		44.5	13
1½"	14	⅜"	25	90	15	⅞"	22	縞鋼板		60	162
1⅝"	1	½"	24	100	2	⅞"	10	縞鋼板		150	1
1¾"	9	⅝"	31	130	3	⅞"	7	縞鋼板		Pipe	29
1⅝"	15	⅞"	43	計	41	⅞"	22	縞鋼板		fitting	5
1½"	14	¾"	72	等邊山計	51	⅞"	3	縞鋼板		其他	
1⅝"	1	⅞"	80	不等邊山形鋼		⅞"	1	縞鋼板		鋼管計 274	
1¾"	9	1	59	(造船材料)		⅞"	1	縞鋼板		其他鋼材の部	
1⅝"	1	1¼"	39	mm mm		⅞"	2	縞鋼板		特殊鋼	
2	10	1½"	32	40×20	2	⅞"	1	縞鋼板		丸鋼	117
2½"	3	1¾"	36	90×75	5	⅞"	1	縞鋼板		鋼鋼板	12
2¼"	7	2	5	100×75	6	⅞"	1	縞鋼板		平鋼板	34
2⅝"	1	2¼"	5	130×90	2	⅞"	1	縞鋼板		計	187
2¾"	3	2½"	30	140×75	1	⅞"	1	縞鋼板		外輪	
3	11	2⅝"	1	150×75	1	⅞"	1	縞鋼板		計	15
3⅝"	1	3	19	150×90	16	⅞"	2	縞鋼板		其他鋼材計 202	
3¼"	2	3½"	14	計	33	⅞"	10	縞鋼板		鋼材計 9,797	
3½"	2	3⅝"	15	溝形鋼		⅞"	12	縞鋼板		フープ	
4	3	4	21	mm mm		⅞"	6	縞鋼板		mm	
4½"	2	4½"	1	90×14	2	⅞"	3	縞鋼板		10	5
5	23	5	23	120×15	2	⅞"	43	縞鋼板		25	10
5¼"	1	5	28	計	4	⅞"	4	縞鋼板		30	10
5½"	18	6	17	球山形鋼		⅞"	54	縞鋼板		49	4
6	40	6½"	4	(造船材料)		⅞"	7	縞鋼板		55	12
6½"	17	22mm	1	mm mm		⅞"	27	縞鋼板		57	20
7	2	23	4	90×14	2	⅞"	1	縞鋼板		59	34
8	20	26½"	4	120×15	2	⅞"	46	縞鋼板		軌附計 847	
6mm	50	27	3	計	4	⅞"	11	縞鋼板		軌附計 847	
32	1	30	1	球山形鋼		⅞"	18	縞鋼板		軌附計 847	
40	1	31	17	(造船材料)		⅞"	22	縞鋼板		軌附計 847	
45	1	35	14	mm mm		⅞"	18	縞鋼板		軌附計 847	
72	1	38	1	90×14	2	⅞"	19	縞鋼板		軌附計 847	
計	585	45	1	120×15	2	⅞"	22	縞鋼板		軌附計 847	
造船材料		5	23	計	4	⅞"	959	縞鋼板		軌附計 847	
2½"	1	6	17	球山形鋼		⅞"	12	縞鋼板		軌附計 847	
2¾"	2	6½"	4	(造船材料)		⅞"	13	縞鋼板		軌附計 847	
3	2	22mm	1	mm mm		⅞"	13½	縞鋼板		軌附計 847	
3¼"	2	23	4	90×14	2	⅞"	14	縞鋼板		軌附計 847	
3½"	3	26½"	4	120×15	2	⅞"	14½	縞鋼板		軌附計 847	
	3	27	3	計	4	⅞"	15	縞鋼板		軌附計 847	
		30	1	球山形鋼		⅞"	15½	縞鋼板		軌附計 847	
		31	17	(造船材料)		⅞"	16	縞鋼板		軌附計 847	
		35	14	mm mm		⅞"	17	縞鋼板		軌附計 847	
		38	1	130×65	3	⅞"	18	縞鋼板		軌附計 847	
		45	1	150×75	4	⅞"	18	縞鋼板		軌附計 847	
		計	644	計	4	⅞"	19	縞鋼板		軌附計 847	

昭和7年7月中 神戸、大阪、横濱三港輸入鋼材品種寸法別表數量 (其ノ二)(單位噸)

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數
<i>mm</i>		<i>mm</i>		1¼"	44	3⅜"	128	4⅞"	28	鋼片、鋼塊 5 233 947 41	
60	20	97	8	1½"	90	3⅞"	50	4⅝"	4		
64	30	98	40	1¾"	11	3½"	254	5	29		
65	57	102	10	2	62	3⅝"	390	5⅝"	108		
66	24	103	30	2⅛"	7	3⅞"	153	5⅜"	5		
67	50	110	10	2⅜"	50	3¾"	2	5⅝"	15		
68	75	123	5	2½"	19	3⅝"	3	6	31		
76	20	125	59	2⅞"	8	3⅞"	10	6⅝"	5		
77	15	126	3	2½"	49	4	44	8⅝"	11		
78	13	187	29	2⅞"	214	4⅞"	21	9⅝"	5		
79	7	190	104	2⅞"	21	4⅞"	5	計	3,642		
80	62	½"	10	2⅝"	20	4½"	67	リ	ボ	ン	
87	52	⅝"	51	2⅞"	47	4⅞"	10	計	348		
90	10	¾"	164	3	92	4⅞"	15				
91	5	⅞"	5	3⅞"	10	4⅞"	3				
92	236	1	29	3⅞"	48	4¾"	20				
93	50	1⅞"	5	3¼"	45	4⅝"	6				

昭和7年7月中 當所品種寸法別生産高 (其ノ一)(單位噸)

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數
棒鋼の部		<i>mm</i>		55 <i>mm</i>	11	スケルプ		<i>mm mm</i>		250×125	204
小型丸鋼		46	3	60	15	56 <i>mm</i>	133	90×60	14	300×150	229
9		48	3	65	84	72	331	90×75	225	18'×7'	726
10		55	84	70	10	112	358	4'×3½"	41	20×7½	248
12		90	73	75	156	149	10	計	449	24×7½	1,197
5.5		95	102	100	367	計	832	大形不等邊山形鋼		計	3,027
3,309		100	256	計	1,323	棒鋼計	8,998	5'×4'	23	丁形鋼	
14		計	536	大型角鋼		型鋼の部		7×3	7	1½'×1½'	26
15		大型丸鋼		110 <i>mm</i>	95	小型等邊山形鋼		計	30	4×3	22
16		105	47	130	4	40 <i>mm</i>	135	不等邊山形計	479	4×4	60
17		110	93	150	25	計	135	溝形鋼		6×4	15
18		120	19	計	124	中形等邊山形鋼		計		計	123
19		125	5	角鋼計	1,532	65 <i>mm</i>	378	鋼矢板		計	360
21		130	17	小型平鋼		75	603	計		型鋼計	9,322
22		150	199	19 <i>mm</i>	235	90	544	溝形鋼		條鋼計	18,320
23		180	6	22	108	100	140	75×40	156	鋼板の部	
24		200	3	25	287	計	1,665	100×50	690	薄鋼板	
25		計	389	32	210	大型等邊山形鋼		125×65	241	0.7 <i>mm</i>	1
26		丸鋼計	4,483	38	7	130 <i>mm</i>	654	150×75	88	0.5	4
28		小型角鋼		44	6	計	2,454	200×70	66	7s	191
30		22	25	計	853	等邊山形計		200×80	416	8	38
32		25	50	中型平鋼		中型不等邊山形鋼		200×90	87	9	118
34		28	10	65 <i>mm</i>	7	180 <i>mm</i>	654	250×90	227	10	8
36		計	85	70	7	計	654	300×90	542	11	345
其他		中型角鋼		75	855	大型等邊山形鋼		6'×2½"	33	13	940
計		22	25	80	5	等邊山形計	2,454	6×3	132	30	23
3,558		25	50	85	2	中型不等邊山形鋼		7×3	162	計	1,668
中型丸鋼		28	10	90	188	溝形鋼		7×3½	39		
38		38	178	計	853	工形鋼		計	2,879		
40		40	6	85	2	mm mm					
42		44	108	90	188	75×50	65				
44		46	25	100	104	75×65	79				
		50	363	計	1,298	80×60	25				
		平鋼計		平鋼計	2,151						

昭和7年7月中當所品種寸法別生産高 (其ノ二)(單位噸)

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數
中鋼板		20mm	81	22mm	27	31	7	線材の部		合金鐵	
<i>mm</i>		22	61	24	1	30	1,000	線材		フェニオン	26
0.8	1	23	1	25	24	29	319	計		計	26
1	13	25	198	計	2,478	計	3,056	5.5mm	4,814	鋼塊	
1.2	80	28	164	縞中鋼板		其他鋼板		計	4,814	普通鋼塊	101,834
1.5	9	23.6	2	3.2mm	6	飛行機用	5	製釘材		電氣爐	1,130
1.6	816	29	3	4.5	51	鋼板	.94	5.5mm	1,729	埴造	184
1.8	26	30	4	計	57	艶付鋼板	13	計	1,729	埴造	184
1.85	48	31	3	縞厚鋼板		庖丁材	11	線材計	6,543	計	103,166
2	54	32	25	6mm	78	美裝鋼板	11	其他鋼材の部			
2.2	6	33	1	8	16	計	123	鋼片			
2.3	134	35	5	9	19	鋼板計	15,151	内部向 63,498			
2.4	24	36	12	計	113	軌條及 附屬品の部		外部向 5,628			
2.5	51	37	1	耳付縞中鋼板		輕軌條		計 69,126			
2.6	2	38	27	4.5mm	19	6K 410		シートバー			
2.9	176	40	11	計	19	9 630		内部向 8,960			
3	64	45	15	耳付縞厚鋼板		計 1,040		外部向 7,441			
3.2	1,060	100	16	6mm	19	重軌條		計 16,401			
3.5	6	1/2"	6	8	9	30K 1,022		短尺及屑鋼			
4	50	3/4	7	9	29	37 3,222		短尺 447			
4.5	1,160	7/8	3	計	57	40 14,959		尺鋼 1,266			
5	77	1 1/4	1	ユニバー サル平鋼		45 394		計 1,713			
B.W.G.No.		計	2,840	珪素鋼板		50 25		其他鋼材計			
18 sheets	1	耳付中鋼板		<i>mm</i>		75 34		鋼材計			
4	5	3.2mm	1	12.5		計 19,656		銑鐵			
計	3,863	4.5	1	計		附屬品		本所 32,852			
厚鋼板		5	2	計		繼目板 631		戸所 9,958			
6mm	535	耳付厚鋼板		鐵力板		タイ 141		洞所 15,940			
6.5	10	6mm	267	<i>mm</i>		レ 6		計 58,750			
7	61	7	5	0.35 806		トラックポ 5					
8	306	8	205	0.43 66		ルトナツト 784					
9	141	9	260	計 872		軌附計		21,480			
10	233	10	20	1lbs							
11	67	11	532	170 787							
12	232	12	925	112 74							
13	55	13	13	107 94							
14	71	14	3	100 547							
15	23	15	157	95 201							
16	172	16	22	90 1							
17	1	18	1	B.W.G.No.							
18	85	19	5	33 26							
19	104	20	11								

昭和7年6月中國別輸入數量表

(單位噸)

品 種	英	佛	獨	白	澳	和	典	合	關	印	其他	計	本年度計
條及竿鐵 (丸、角、平形にして、 徑又は幅15mmを超えざるもの)	24	63	189	213	31	—	19	—	—	—	111	650	4,229
〃 (丸、角、平の他の形及テ アングル形)	265	15	469	19	53	—	1	2	1	—	74	899	6,346
〃 (其他)	222	—	56	25	—	—	—	—	—	—	—	303	2,601
〃 (其他)	12	19	1,387	—	—	—	—	1	—	—	586	2,005	13,236
レール	—	—	622	—	—	—	—	352	—	—	—	974	2,769
フィッシュ、プレート	—	—	15	—	—	—	—	18	—	—	—	33	126
ワイヤード (巻きたるものに して、厚5mmを超えざるもの)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
〃 (巻きたるもの其他)	—	363	1,735	202	—	—	29	152	—	—	—	2,481	17,890
鐵板 (金屬を鍍せざるものに して、厚0.7mmを超えざるもの)	11	—	90	10	—	—	—	18	—	—	—	129	1,462
〃 (金屬を鍍せざるものに して、厚0.7mmを超えざるもの其他)	1,028	—	2	—	—	—	—	—	—	—	1	1,031	10,547
〃 (金屬を鍍せざるものに して、厚3mmを超えざるもの)	172	—	440	40	58	—	37	41	—	—	108	896	2,874
〃 (金屬を鍍せざるもの其他)	160	160	465	161	1	—	2	62	1	—	4	1,016	2,681
〃 (鍍したるもの)(葉鐵及葉鋼)	5,238	—	446	—	—	—	—	1,288	—	—	—	6,972	42,223
〃 (亞鉛鍍したるもの)	—	—	—	—	—	—	—	31	—	—	16	47	319
〃 (其他專金屬を鍍したるもの)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
鐵線	37	—	28	8	1	13	6	248	—	—	—	341	1,768
リード・ワイヤー	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
鐵リボン	144	11	184	29	27	—	50	21	—	—	24	490	3,194
帶 (箍鐵)	32	156	980	2,968	—	3	—	22	—	—	1,184	5,345	31,758
パラゴン・ワイヤー	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5	137
線索	26	—	6	—	—	—	—	4	—	—	—	36	120
撚合線	—	—	—	—	—	1	—	4	—	—	—	5	44
バード・ツイスター	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
鐵筒及管	15	154	123	—	—	—	32	825	—	—	2	1,151	5,825
特殊鋼(稅表一)	21	1	2	—	175	—	34	3	—	—	15	251	1,264
〃 (稅表二)	6	—	9	—	15	—	12	—	—	—	5	47	385
鐵道車輛用軸	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	52
鐵道車輛用タイヤ	—	14	—	71	—	—	—	—	—	—	—	85	130
鐵道車輛用ス	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	7,418	956	7,248	3,746	361	17	222	3,092	2	—	2,130	25,192	151,981
フェロ・マンガニース	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	194
フェロシリコン及シリコ スビーゲルアイゼン	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
其他の不可鍛成鐵合金	2	—	5	—	—	—	—	—	—	—	75	82	277
シートバー (ティンバーを含む)	111	—	1,950	—	—	—	—	—	—	1,840	—	3,901	9,106
インゴット・ブルーム・ ピレット及スラップ	—	—	15	102	—	—	1	—	—	729	—	847	9,851
ケツグスチール及 パンプスチール	—	—	—	—	—	—	17	—	—	—	—	17	354
其他の塊及錠鐵	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2
合計	113	—	1,970	102	—	—	18	—	—	2,569	75	4,847	19,784
銑屑及故鐵	559	—	—	—	—	10	—	—	19,739	11,637	20,701	52,646	298,449
	6,801	—	52	5,412	—	1,155	—	28,729	1,616	15,813	21,875	81,453	177,155

昭和7年7月中棒鋼寸法別揚地別引渡高表

(單位噸)

寸法	丸 鋼					規格品及特殊鋼					合計
	民間向普通鋼				計	民間向普通鋼				計	
	阪神揚	京濱揚	其他	計		阪神揚	京濱揚	其他	計		
6mm	—	—	1	1	—	—	—	—	—	1	
6.5	—	—	—	—	—	—	1	1	—	1	
8	—	—	—	—	—	—	1	1	—	1	
9	491	2,040	214	2,745	—	—	—	—	—	2,745	
10	2	—	—	2	—	—	—	—	—	2	
12	4	—	2	6	—	—	4	4	—	10	
13	2	12	2	16	—	—	—	—	—	16	
14	3	—	—	3	—	—	—	—	—	3	
15	6	—	—	6	—	—	—	—	—	6	
16	—	—	2	2	—	—	—	—	—	2	
17	—	—	2	2	—	—	—	—	—	2	
18	—	2	—	2	—	—	—	—	—	2	
19	—	—	4	4	—	—	1	1	—	5	
20	—	—	1	1	—	—	—	—	—	1	
21	13	—	—	13	—	—	—	—	—	13	
22	75	1	2	78	—	—	2	2	—	80	
24	2	1	—	3	—	—	5	5	—	8	
25	3	19	12	34	—	—	4	4	—	38	
26	—	—	—	—	—	—	6	6	—	6	
27	—	—	14	14	—	—	—	—	—	14	
28	—	—	—	—	—	—	2	2	—	2	
32	23	13	1	37	—	—	12	12	—	49	
36	—	1	1	2	—	—	—	—	—	2	
38	—	21	—	21	—	—	—	—	—	21	
44	—	—	1	1	—	—	—	—	—	1	
50	10	1	8	19	—	—	—	—	—	19	
70	—	—	1	1	—	—	—	—	—	1	
75	—	—	1	1	—	—	—	—	—	1	
90	9	—	1	10	—	—	—	—	—	10	
95	22	45	—	67	—	—	—	—	—	67	
100	31	60	11	102	—	—	1	1	—	103	
110	37	15	1	53	—	—	—	—	—	53	
115	51	36	2	89	—	—	—	—	—	89	
120	20	—	1	21	—	—	—	—	—	21	
125	—	1	—	1	—	—	—	—	—	1	
130	20	30	4	54	—	—	—	—	—	54	
135	—	3	—	3	—	—	—	—	—	3	
140	13	25	—	38	—	—	—	—	—	38	
150	14	16	—	30	—	—	—	—	—	30	
160	3	11	—	14	—	—	—	—	—	14	
170	7	15	—	22	—	—	—	—	—	22	
180	6	16	—	22	—	—	—	—	—	22	
190	3	5	—	8	—	—	—	—	—	8	
200	3	19	—	22	—	—	—	—	—	22	
計	873	2,408	289	3,570	—	—	39	39	—	3,609	

寸法	角 鋼					規格品及特殊鋼					合計
	民間向普通鋼				計	民間向普通鋼				計	
	阪神揚	京濱揚	其他	計		阪神揚	京濱揚	其他	計		
12mm	85	38	58	181	—	—	—	—	—	181	
13	—	—	1	1	—	—	—	—	—	1	
15	—	—	20	20	—	—	—	—	—	20	
16	40	80	20	140	—	—	—	—	—	140	
19	65	15	13	93	—	—	—	—	—	93	
22	—	15	7	22	—	—	—	—	—	22	
25	5	11	50	66	—	—	—	—	—	66	
26	—	5	—	5	—	—	—	—	—	5	
28	15	—	2	17	—	—	—	—	—	17	
32	50	50	14	114	—	—	—	—	—	114	
36	—	3	—	3	—	—	—	—	—	3	
38	181	74	25	280	—	—	—	—	—	280	
44	60	26	5	91	—	—	—	—	—	91	
46	—	8	—	8	—	—	—	—	—	8	
50	79	58	4	141	—	—	26	26	—	167	
65	70	25	8	103	4	—	6	10	—	113	
75	100	115	79	294	—	—	77	77	—	371	
90	5	15	—	20	—	—	—	—	—	20	
100	14	40	3	57	—	—	17	17	—	74	
120	10	—	—	10	—	—	—	—	—	10	
130	1	2	—	3	—	—	12	12	—	15	
140	5	—	—	5	—	—	—	—	—	5	
150	21	—	2	23	—	—	5	5	—	28	
計	806	580	311	1,697	4	—	143	147	—	1,844	
平 鋼											
19mm	136	90	28	254	—	—	—	—	—	254	
22	157	24	4	185	—	—	—	—	—	185	
25	160	61	102	323	—	—	—	—	—	323	
32	211	147	38	396	—	—	—	—	—	396	
38	—	2	1	3	—	—	—	—	—	3	
50	—	1	6	7	—	—	—	—	—	7	
60	—	27	2	29	—	—	—	—	—	29	
65	—	27	—	27	—	—	—	—	—	27	
70	—	1	6	7	—	—	—	—	—	7	
75	526	367	116	1,009	—	—	—	—	—	1,009	
90	213	196	33	442	—	—	—	—	—	442	
100	44	56	6	106	—	—	—	—	—	106	
110	—	33	—	33	—	—	—	—	—	33	
115	—	47	—	47	—	—	—	—	—	47	
計	1,447	1,079	342	2,868	—	—	—	—	—	2,868	
總計	3,126	4,067	942	8,135	4	—	182	186	—	8,321	